

弦泳

第 36 号

関西学院大学体育会

水上競技部部誌

はじめに

関西学院大学水上競技部競泳パートは、昨シーズン、「関西学生選手権男子総合2位、女子1部残留」「日本学生選手権シード獲得」という目標を掲げました。関西学生選手権では、男子は同志社大学に僅差で敗れ総合3位、女子は総合8位2部降格という結果となり、惜しくも目標を達成することができませんでした。日本学生選手権では400mメドレーリレー、800mフリーリレーでB決勝進出、個人種目では平井主将が100m平泳ぎにおいてB決勝へ勝ち進むといった活躍があったものの、点数を伸ばすことができず悔しい結果となってしまいました。その中でも4回生を中心にチーム一丸となり、各選手が全力を尽くすことができました。

今シーズンは、「仁・義・礼・智・信・利」の体得を目指し、「六常」という目標を掲げ、KGUST2023をスタートさせてまいります。高新主将の下、競技力、精神力ともに大成することを目指し、精一杯取り組んで参りますので、今夏にKGUST全員が輝く姿をお楽しみにして下さい。

水球パートは、本年度も関西学生選手権に向けて、コロナ下での練習に励みました。

昨年と同じく1部リーグ昇格を目指し取り組んだ関西学生選手権ですが、結果は2部8位となり目標には届きませんでした。しかし、関学らしい最後まで諦めない水球、そして、新たに攻める姿勢を見せることができました。

来年は関西学生選手権において、雪辱を晴らすべく、1部昇格の目標に向け今まで以上に日々精進して参りますので、どうか応援の程よろしくお願い申し上げます。

さて、『弦泳第36号』をお届けいたします。水上競技部の活動や様子がお伝え出来ればと思います。また、至らない点多々あるとは存じますが、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。OB・OGの諸先輩方をはじめ、多くの皆様楽しんで読んで頂けますようお願いしております。

目次

はじめに

目次

I. ご挨拶・総括・抱負

ご挨拶

弦泳会会長	北村 公一	1
水上競技部部长	岡田 太志	3
水上競技部監督	内藤 俊夫	5
競泳前主将	平井 佑典	7
水球前主将	山口 大登	8

抱負

競泳主将	高 大輔	9
------	------	---

II. 現役活動報告

<競泳>

1. 第 98 回日本選手権水泳競技大会	10
2. 関西学生夏季公認記録会	11
3. 第 35 回兵庫県夏季公式記録会	13
4. 第 10 回関西学生チャンピオンシップ水泳競技大会	15
5. 第 90 回兵庫県選手権水泳競技大会	19
6. 2022 年度大阪府選手権水泳競技大会	22
7. 第 96 回関西学生選手権水泳競技大会	23
8. 第 10 回関西学生夏季長水路公認記録会	27
9. 第 98 回日本学生選手権水泳競技大会	29

<水球>

1. 関西学生選手権水球競技大会	32
------------------	----

III. 現役部員紹介

1. 4 年間を振り返って	35
2. 部員名鑑	49

IV. 付録

1. 2020 年度水上競技部会計報告	59
2. 歴代 10 傑表	60

編集後記	71
------	----

I. ご挨拶・総括・抱負

ご挨拶

弦泳会会長 北村公一

新型コロナウイルス感染症が、わが国で発覚して3シーズン目となりました。本年も、競泳・水球とも主な大会はほぼ無観客で開催されました。プールでの応援を切望されておられた保護者の皆さま、OB・OGの皆様には非常に残念なことでありました。本年5月4日、3年ぶりに関大プールに於いて関関戦が開催されました。その際ある3年生から、今回入学して初めて試合前と終了後に全員でミーティングが行えたこと、そして部員全員で集合写真が撮れたことをとても嬉しく思いますとの感想を聞き、胸が詰まりました。

過去2年間、入学式、卒業式、新入生歓迎会、追い出しコンパ、水祭など節目の行事が次々制限されてまいりました。コロナ感染症は、収束の目途が立ちませんが、行動制限は緩和されつつあります。一方、日常生活、人の考え方や行動は、コロナ前と比較して確実に変化しました。現役の皆さんが、環境の変化に順応しながら充実した学生生活、水上競技部での活動を送られることを心から願っております。

本年は、競泳、水球ともそれぞれが掲げた競技目標を達成することができませんでした。

しかしながら、競泳の平井主将は自ら有言実行を貫き、100平において関西制覇、日本学生16位の成績を取めチームを牽引しました。各選手のここ一番での渾身の泳ぎを見るにつけ、平井主将が精神目標に掲げた「繫勝」のスローガンがチームに深く浸透したと感じています。水球は、山口主将が4年生一人で奮闘、3年生選手不在という厳しいチーム運営の中、1年・2年を短期間で鍛え上げ、まとまりのあるチームに仕上げました。試合において山口主将を軸に1・2年生が果敢に攻める姿が印象的でした。

既にご案内の通り、内藤監督が今シーズン限りで監督を退任されることになりました。内藤監督は、実に28シーズンの長きに亘り、自身のプライベートとキャリアを後回しにし、水上競技部発展のため尽力されました。部員の技術向上のみならず、精神的成長にも大きな貢献をされました。長年のご労苦に深甚なる感謝を申し上げます。

後任監督には、北村が就くこととし、北村は監督に専念するため会長職を辞し、田口副会長を後任会長に指名いたしました。今後、なるべく早期にOB・OGの中から監督に相応しい方を選任すべく、弦泳会幹事の皆さんと人選に努めてまいります。

2024年には、関西学院大学・早稲田大学対抗水上競技大会が100周年の節目を迎えます。早稲田大学水泳部OBOG会の稲泳会原会長とは、身の丈に合った大会を目指す、現役主導による開催、という大筋で合意し鋭意検討を進めております。

今後、大学の競技スポーツ局(KGAD)への加盟と、早関戦100周年記念大会開催が、水

上競技部にとって新たな発展への契機となることを祈念いたします。

会員の皆さまにおかれましては、くれぐれも体調管理にご留意いただきながら、引き続き現役に対しましてのご支援、ご鞭撻をお願いいたします。

ご挨拶

水上競技部長 岡田太志

創部 104 年となる今年の活動は、コロナ禍が続く中、昨年につき、厳しい日々が続きました。そうした中であって、現役部員は、4 年生を中心に予想を凌ぐ戦績を遺すことができました。関西学院を改めて覚え、関西学院に連なる我々に勇気と感動を与える内容であり、我々の誇りとなりました。それは、何よりも弦泳会会員の皆様方からの日頃のご支援とご尽力の賜物であり、改めて深く感謝申し上げる次第です。ありがとうございました。

個々の現役部員の皆さんにとって、この 1 年の活動は、どのようなものだったのでしょうか。卒業していかれる 4 年生にとって、プールに入れぬ悔しさも経験した 4 年間の活動はどのようなものだったのでしょうか。部として、また個として、「本当に大切なもの」を否応なく考えさせられました。数々の「気づき」が与えられ考える機会になったに違いありません。今後は、それら水上競技部での「気づき」「学び」と「成長」を糧とされ、社会人として活躍されていかれることを確信とともに祈念します。

ご承知の通り、関西学院大学体育会は一大変革期にあります。具体的には、これまで長らく「課外活動」とされてきた大学スポーツを「正課外教育」と位置づけ、また、組織的には学校法人から独立している体育会を法人の内部組織とすべく、第一弾として、2019 年度より「Academic Eligibility for KG athletes（関西学院大学体育会員に関する対外試合出場のための資格制度）」が実施され、続いて、2021 年には「KGAD（Kwansei Gakuin University Athletic Department、関西学院大学競技スポーツ局）」が設立され、各部には KGAD への加盟が推奨されています。これは全国の大学に先駆けた時代を画する試み、挑戦ですが、今なぜ KGAD なのでしょう。

2018 年、本学も関わった悪質タックル問題を皮切りに、ボクシング、レスリング、バスケットボール、体操、などなど、次々と不祥事が明るみになり、改めて、スポーツ、大学スポーツのあり方が問われる機会となったことは記憶に新しいところです。そして、それまで既に大学スポーツのあり方を検討し続けていた関西学院大学にとっては、これら一連の事件が、全国の大学に先駆けて大きな一歩を踏み出すきっかけになったように思います。暫くは生みの苦しみが続くに違いありませんが、確立されていけば、大学スポーツのあり方として、やがては「KG モデル」と呼ばれるまでに育っていくのではないかと期待しているところです。

改めて、関西学院のスクールモットーは"Mastery for Service"です。その下で体育会のモットーは"NOBLE STUBBORNNESS"です。そしてわが部のモットーは"Zeal in Holy Stroke"です。それぞれの意味は何なのか、そこにはどのような思いや哲学が込められてい

るのか。現役の皆さんは、それらを常に問い考え自ら意味付けていく。そうした作業こそが、競技力の向上と人間的成長に繋がる大元のひとつであると信じているところだ。

今年度、監督が内藤俊夫様から K.G.A.A.副会長の北村公一氏に交代となります。内藤監督、長年にわたる献身的なご尽力、誠にご苦勞様でございました。目に見える形での輝かしい関西制覇はもちろんですが、この間、監督と卒業生、部員の皆さんから賜った多くの気づきと学びにひたすらに感謝の気持ちでいっぱいです。誠にありがとうございました。引き続き宜しくお願い申し上げます。北村新監督におかれては、たいへん厳しい一大変革期を担われることとなるように思えてなりません。誠にご苦勞様でございます。弦泳会の皆様におかれましては、どうか新監督を引き続きお支えいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

現役生の皆さん、神学者 Reinhold Niebuhr(1892-1971)が以下の祈りの言葉を遺しています。考える参考までに掲載させていただきます。

God, give us grace to accept with serenity the things
that cannot be changed,
Courage to change the things which should be changed,
and the Wisdom to distinguish the one from the other.

主よ、どうしても変えることのできないものについては、それを静かに受け容れる品格
(心の平和)をお与え下さい。

変えるべきことについては、それを変えていく勇気をお与え下さい。

そして変えることのできないものと変えるべきものを見分ける
叡智をお与えください。

最後となりましたが、改めて弦泳会会員の皆様方の日頃からのご支援に心から感謝申し上げますとともに、引き続き水上競技部へのご支援とご鞭撻を賜りますよう、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

令和4年総括と退任ご挨拶

水上競技部監督 内藤 俊夫

令和4年度の競泳部門の主な戦績としては、関カレ男子総合3位、女子総合1部8位でした。インカレ男子は1951年総合5位以来71年ぶりとなるシード権獲得を目指しました。主将：平井（経4）が100BR16位、400MR14位800R13位となり総合15点学校対抗18位の成績に留まりましたが、本気でシードを目指した結果の15点と15点を目指した結果の15点とでは経験値に雲泥の差があります。近い将来のシード権獲得を達成するのに十分な今シーズンの取組みだったと思っています。女子は9年ぶりに複数リレー種目（400Rと400MR）でインカレ出場し、400MR3泳渡瀬（教1）4泳天野（国2）は引継ぎベストを大幅に更新しました。

また、平井は50BRで27秒71をマークし、関西学生記録に0秒05、日本学生記録に0秒32まで迫りました。プールでのメリハリの効いた練習に加えて、陸でのトレーニング、食事や休養をはじめとするプールの外での取り組み姿勢も際立つ選手です。一般企業に就職して練習拠点は関学水泳部に置いたまま2028年ロサンゼルス五輪を目指していきますので、過度な期待にならないように温かく見守っていきたいと思っています。

水球部門の主な成績は関西2部3位でした。また、秋の新人戦では立命館大学にラスト40秒まで1点差、龍谷大学とは2ピリ3ピリに限ればイーブン、と善戦し、新シーズンに大きな期待を持てる結果を残しました。令和5年は25年ぶりの関西制覇を達成して欲しいと思っています。

この度28シーズン務めた監督を退任することとなりました。就任当初は選手を指導すること若しくは指導体制を整えることが私の役目だと考えていましたが、ここ数年は敢えて逆の発想で（監督やコーチがプールに居ないことを隠さずに）「学生主体」を謳っていました。

（関学水泳部の状況を一番イメージしやすい言葉として「学生主体」を使っています。）
学生自身が自ら主体的に考えて行動して自分自身の人生を輝かせていくためにも我々大人が答えを教えることは我慢しておくべきだと考えるに至りました。成功からだけでなく失敗から学ぶ経験を、大学生であるこの時期に、自分の最も大切にしている水泳を通して学ぶことには大きな意義があります。

「学生主体」を唱える関学水泳部が目指すのは、自ら主体的に動き動ける人物を育てることであり、同時に学生スポーツが社会から期待されている役割であると考えています。今後とも引き続き現役生への温かいご指導・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

最後に、退任にあたって前々ヘッドコーチの故：竹下裕之（1990年社会学部卒。2010年8月29日没）に触れておきたいと思います。竹下とは、私が関学高等部2年時に彼が中学部に入学して同じプールで練習する様になって以来31年、関学水泳部のスタッフ（竹下は高校2年時に生死をさまよう大病を患ったので大学水泳部には所属していない）としても本学でスポーツ推薦が復活し、2人でコーチに就任した1991年以来20年の付き合いでした。

竹下の

- ・ 熱い志
- ・ 正確な水泳理論とスポーツ全般に対する俯瞰力
- ・ 母校への深い愛情

に深く心を動かされた私は、転職して関西に戻り関学水泳部のスタッフに名を連ねることとなりました。彼の水泳と母校に対する純粋な情熱に心を動かされたことが、28シーズン私が水泳界に携わってきた原点です。

竹下の情熱のほんの残りカスで28シーズン夢中になって動いて来れたと思っています。

次はどんなリーダーが現れて道を創るのか楽しみにしています。

以上

昨シーズンを振り返って

競泳前主将 平井佑典

KGUST2022の競泳パートは、精神目標に「繫勝」を掲げ一年間の挑戦を続けてきました。そのうえで競技目標としては、「関西学生選手権男子総合2位、女子1部残留」「日本学生選手権シード権獲得」と設定していました。しかし今年のチームは競技目標を1つも達成できずに終わってしまいました。

関西学生選手権では、男子は同志社大学に2点差で敗れ総合3位、女子は1部残留となる6位の琵琶湖成蹊スポーツ大学に8点届かず8位となりました。これまでチームに大舞台で最高のパフォーマンスを発揮できる選手が少ないことは分かっていました。今年こそはこの課題を克服し大舞台で勝てるチームを目指していましたが、克服することはできませんでした。勝てるところで勝ちきれずに点数を落とす場面が多くありました。男子のメドレーリレーで失格してしまったことをはじめとし、細かい点数の取りこぼしが積み重なった結果、男女ともに目標にはあと一歩届きませんでした。

日本学生選手権では、男子総合15点18位と点数を伸ばすことが出来ませんでした。3日目まではベストを更新する選手もほとんどおらず苦しみました。関西学生選手権に続き大舞台で実力を出し切れないというチームの課題が浮き彫りになりました。ベストタイムで泳いでいれば点数をとれたという声を多く聞きましたが、全員がベストパフォーマンスを発揮できていたとしてもシード権には遠く及ばなかったということも現実です。大学水泳日本一を決める試合はそう甘くはありませんでした。全国大会の厳しさを部員一人一人が感じる事となりました。

精神目標の「繫勝」には①チーム一丸となり大舞台で勝利をつかむ。②人との繋がりを意識し高め合う。③次世代へと思いを繋ぐ。という3つの思いを込めていました。精神目標が達成できたかと問われると、競技結果からも「はい」とは言えないところが悔しいところです。昨シーズンは勝利・勝つことに重きを置いてきました。6月ごろまでは着実に競技力を伸ばし勝つための準備が出来つつあるようにみえていました。しかしその先にあったのが関西学生選手権や日本学生選手権の結果です。シーズンが終わって早2ヶ月が経ちましたが未だに何が悪かったのか、どこで道を踏み外したのか考えることがよくあります。答えが出ることはないかと思いますが、昨シーズンの経験が糧となり後輩たちが新たな道を切り開いてくれることを願っています。

最後になりましたが、私たち現役部員のために多くのご支援をして下さった北村会長をはじめとするOB、OGの諸先輩方、内藤監督、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。今後ともチームにご支援、ご声援をいただけますと幸いです。

昨シーズンの振り返り

水球前主将 山口 大登

昨シーズンは、結果として私が入部して以来最低の順位で学生リーグを終えてしまい、後悔しかありません。勝てる試合で得点が思うように伸びず負けてしまい悔しい思いをしました。ですが、最後まで楽しんで水球をすることができたので後悔はないと思っています。今考えれば事前からもっとやることもあっただろうし、やらなければならない練習も多々あったとは思いますが。しかし、後輩たちには今年の結果を踏まえて後悔はせず反省だけはしっかりして、来年自分達で定めた目標のために突き進み、今年の雪辱を果たしてほしいと思います。

「2023 年度 抱負」

競泳主将 高 大輔

KGUST2023 競泳パートでは、精神目標に「六常（ろくじょう）」を掲げ、関西学生選手権「男子 2 位奪還、女子 1 部昇格」、日本学生選手権「総合 30 点獲得」に向け、日々の鍛錬に励みます。六常とは、五常（仁義礼智信）に「利」を付け加えており、円滑な人間関係の構築に必要な徳とアスリートに必要な貪欲さを兼ね備えた選手に成長することを目標にしています。スクールモットーである Mastery for Service、そして水上競技部の Zeal in Holy Stroke を体現できる人間になることを皆が定め、揺らぐことのない人間性、高い競技力を兼ね備えた部員が集う団体として、1 年間歩みを進める所存です。

私自身、この 1 年を選手としても主将としても、大成する年とします。平井主将が率いる KGUST の精神目標は、「繫勝」でした。大舞台で活躍のできる、勝ちに行く、次世代に思いを繋いでいくチームとして歩まれました。平井主将は、有言実行のもと部に多大な貢献をされ、大舞台での活躍を遂げられました。次は私がチームを引っ張らなければと責任と使命感を感じており、身が引き締まる思いです。そして「繫勝」を今後も継続して、多くの世代に紡いでもらいたいと考えています。そのためのお手本となれるよう、選手及び主将として、二刀流を極めていきます。

私の目指す主将・リーダー像をここに記させていただきます。結論は、「この人についていくと何か良いことがありそう。」、そう部員に感じてもらえる主将です。私は人生の中で、リーダーという役職に就いた経験はほとんどございません。その分、たくさんのリーダー達を見てきました。彼らは、全員共通して、周りから信頼され、お互いに良い影響を与え、全体のパフォーマンスを引き上げることのできる人達でした。私は部員全員の前に立ち、後ろに良い波を作り出し、その波に乗って、チームを大きく前進させることのできる主将でありたいと思います。

最後になりましたが、北村会長を始めとする OB・OG の方々のご支援によって、我々水上競技部は活発に活動することができております。この場を借りて感謝御礼申し上げます。今シーズンも部員一同、精神誠意部活動に励みます。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

II. 現役活動報告（記録及び観戦記）

< 競泳パート >

1. 第 98 回日本選手権水泳競技大会

開催日：2022/4/28(木)~2022/5/01(日)

会場：横浜国際プール

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

種目	男女	氏名	学年	予/決	記録	順位	備考
50m平泳ぎ	男子	平井 佑典	4	予選	28.56	26	
200m平泳ぎ	男子	重塚 笙	1	予選	2.15.51	29	☆
400m個人メドレー	男子	田中 一路	2	予選	4.28.86	35	

観戦記

田中 一路

私は選考会に引き続き 2 度目の日本選手権でしたが、何度来てもハイレベルなレースにとっても刺激を受け熱い気持ちになります。しかし、それと同時に自分の努力の至らなさや現時点でのレベルの低さを痛感します。関学は全国に弱いと言われていましたが、全国に弱いのではなく元々全国で闘うレベルに達していないのだと思いました。関西での成績に驕らず高い志を持ってこれからの練習に励もうと決心しました。

2. 関西学生夏季公認記録会

開催日：2022/5/21(土)

会場：秋葉山公園県民水泳場

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

種目	男女	氏名	学年	予/決	記録	順位	備考
50m自由形	男子	長澤 樹	2	夕決	23.29	8	
		小嶋 虹佑	1	夕決	23.66	14	
		田中 駿真	2	夕決	23.88	18	
	女子	天野 百望	2	夕決	26.20	2	
100m自由形	男子	大平 理登	1	夕決	51.45	11	
		長澤 樹	2	夕決	51.53	14	
		小嶋 虹佑	1	夕決	51.79	17	
		田中 駿真	2	夕決	51.90	19	
		伊藤 寛記	1	夕決	52.42	20	
	女子	天野 百望	2	夕決	56.89	1	
200m自由形	男子	増田 達哉	3	夕決	1.49.11	2	
		山田 晃誠	2	夕決	1.53.78	12	
	女子	佐野 仁美	2	夕決	2.13.04	12	
		松永 真彩子	4	夕決	2.13.31	13	☆
400m自由形	男子	増田 達哉	3	夕決	3.51.45	1	
		山田 晃誠	2	夕決	4.02.12	6	
1500m自由形	男子	大門 慶悟	2	夕決	15.51.94	1	
100m背泳ぎ	男子	高 大輔	3	夕決	53.74	1	大会新
		福本 勝太	3	夕決	54.98	2	
		大平 理登	1	夕決	56.29	OPEN	
		西垣 祐輝	3	夕決	58.00	10	
200m背泳ぎ	男子	高 大輔	3	夕決	1.56.04	1	大会新
		福本 勝太	3	夕決	1.59.57	2	
	女子	濱田 莉子	2	夕決	2.20.59	4	
100m平泳ぎ	男子	窪田 聖	4	夕決	1.01.74	7	
		木村 拓真	4	夕決	1.02.27	11	☆
		斉藤 迅	4	夕決	1.02.28	12	
		佐藤 亮士	3	夕決	1.02.68	14	
		武樋 祥太郎	3	夕決	1.02.92	15	
		八木 大輝	2	夕決	1.04.30	20	

200m平泳ぎ	男子	斉藤 迅	4	夕決	2.12.44	4		
		八木 大輝	2	夕決	2.14.91	9		
		武樋 祥太郎	3	夕決	2.15.64	10		
100mバタフライ	男子	好川 大雅	3	夕決	52.36	1	☆	
		杉井 郁哉	3	夕決	53.85	6		
		植田 竜成	4	夕決	53.96	9		
		濱 享輔	2	夕決	55.94	19	☆	
	女子	三浦 結依	3	夕決	1.09.27	10		
200mバタフライ	男子	永井 悠介	1	夕決	1.56.84	1	☆ 大会新	
		植田 竜成	4	夕決	2.00.19	4		
		杉井 郁哉	3	夕決	2.03.57	10		
		濱 享輔	2	夕決	2.03.78	12		
		藤原 大彰	3	夕決	2.04.85	13	☆	
	女子	渡瀬 夢花里	1	夕決	2.15.07	4		
200m個人メドレー	男子	大谷 雄剛	4	夕決	2.00.22	2	☆	
		大平 理登	1	夕決	2.03.06	6		
	女子	濱田 莉子	2	夕決	2.23.00	5		
400m個人メドレー	男子	大谷 雄剛	4	夕決	4.20.77	1		
400mメドレーリレー	女子	山城 夢芽	1	夕決	1.04.94	2		
		濱田 莉子	2		1.13.95		☆	
		渡瀬 夢花里	1		1.02.35			
		天野 百望	2		57.18			
		計					4.18.42	

観戦記

小嶋 虹佑

今回の試合は、今シーズン最後の短水路での試合であったため、インカレの標準記録突破を目標とする選手が多く見られたレースだった。その中で、同期のベストや大会新記録も見られ、とても刺激を受けた試合となった。自分自身不甲斐ない結果で終わってしまったので、置いていかれないようより一層努力をしていこうと思った。

3. 第35回兵庫県夏季公式記録会

開催日：2022/5/28(土)~2022/5/29(日)

会場：ポートアイランドスポーツセンター

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

種目	男女	氏名	学年	予/決	記録	順位	備考
50m自由形	男子	久世 航大	2	夕決	23.90	3	
		三原 慶悟	3	夕決	23.39	1	☆
		三野 漠	4	夕決	23.86	2	☆
100m自由形	女子	佐野 仁美	2	夕決	1.03.71	23	
	男子	小嶋 虹佑	1	夕決		棄権	
		山田 晃誠	2	夕決	54.12	11	
		堀 敬貴	4	夕決	51.24	1	
		三野 漠	4	夕決	50.19	3	☆
		増田 達哉	3	夕決	52.36	2	
大平 理登	1	夕決	53.03	5			
200m自由形	女子	佐野 仁美	2	夕決	2.18.88	20	
		松永 真彩子	4	夕決	2.20.33	24	
	男子	山田 晃誠	2	夕決	1.56.67	6	
		増田 達哉	3	夕決	1.53.29	1	
		三原 慶悟	3	夕決	1.53.42	2	☆
400m自由形	女子	松永 真彩子	4	夕決	4.54.46	16	
1500m自由形	男子	大門 慶悟	2	夕決	16.23.56	1	
50m平泳ぎ	男子	八木 大輝	2	夕決	31.29	7	
		木村 拓真	4	夕決	29.44	3	☆
100m平泳ぎ	男子	武樋 祥太郎	3	夕決	1.06.58	13	
		木村 拓真	4	夕決	1.04.60	4	☆
		窪田 聖	4	夕決	1.05.37	10	
		斉藤 迅	4	夕決	1.05.00	6	☆
		平井 佑典	4	夕決	1.02.79	2	
200m平泳ぎ	男子	八木 大輝	2	夕決	2.22.72	5	
		斉藤 迅	4	夕決	2.17.61	1	☆
		平井 佑典	4	夕決	2.21.07	4	
50mバタフライ	男子	小嶋 虹佑	1	夕決		棄権	
100mバタフライ	女子	三浦 結依	3	夕決	1.12.36	18	
	男子	植田 竜成	4	夕決	55.64	2	

200mバタフライ	男子	大門 慶悟	2	夕決	2.12.46	8	
		藤原 大彰	3	夕決	2.11.03	7	☆
		植田 竜成	4	夕決	2.03.96	1	
200m個人メドレー	男子	楠田 将也	3	夕決	2.16.64	10	
		大平 理登	1	夕決	2.07.55	2	
400mメドレーリレー	女子	山城 夢芽	1	夕決	1.08.30	1	
		濱田 莉子	2	夕決	1.16.81		☆
		渡瀬 夢花里	1	夕決	1.02.17		☆
		天野 百望	2	夕決	58.30		
	男子	堀 敬貴	4	夕決	1.01.22	1	
		平井 佑典	4	夕決	1.02.15		
		植田 竜成	4	夕決	54.72		☆
		三野 漠	4	夕決	52.34		

観戦記

大平 理登

今回の試合は、最大4週連続レースとなる選手の2週目で連戦を戦い抜ける力が必要であり、それがインカレなどの大舞台でのレースで結果を残す力に直結するのだと実感した。

タフなレースであっても勝ち切れる選手になるためにさらに努力が必要だと分かった。

4. 第10回関西学生チャンピオンシップ水泳競技大会

開催日：2022/6/4(土)~2022/6/5(日)

会場：丸善インテック大阪プール

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

種目	男女	氏名	学年	予/決	記録	順位	備考
50m自由形	男子	久世 航大	2	予選	23.53	7	
				決勝	23.44	6	
		堀 敬貴	4	予選	23.52	6	☆
				決勝	23.64	8	
		三野 漠	4	予選	23.98	16	
				B決	23.88	7	
		長澤 樹	2	予選	24.36	24	
	小嶋 虹佑	1	予選	24.65	28		
	田中 駿真	2	夕決	24.42	OPEN		
	高橋 優輝	3	夕決	25.55	OPEN		
女子	天野 百望	2	予選	26.85	3		
			決勝	26.72	3		
100m自由形	男子	清水 歩空	1	予選	52.15	13	
				B決	52.42	5	
		久世 航大	2	予選	52.47	17	
		三野 漠	4	予選	52.54	18	
		長澤 樹	2	予選	52.86	19	
		堀 敬貴	4	夕決	52.44	OPEN	
		大平 理登	1	夕決	52.66	OPEN	
		伊藤 寛記	1	夕決	53.22	OPEN	☆
	田中 駿真	2	夕決	53.39	OPEN	☆	
	垣内 柊人	1	夕決	53.61	OPEN	☆	
小嶋 虹佑	1	夕決	53.98	OPEN			
女子	天野 百望	2	予選	59.09	6		
			決勝	58.56	3		
佐野 仁美	2	予選	1.03.06	24			
200m自由形	男子	増田 達哉	3	予選	1.53.33	4	
				決勝	1.51.93	3	☆
		清水 歩空	1	予選	1.53.59	5	
				決勝	1.52.33	4	
		三原 慶悟	3	予選	1.53.95	9	
		山田 晃誠	2	予選	1.57.72	23	
	垣内 柊人	1	夕決	1.57.39	OPEN		
	伊藤 寛記	1	夕決	2.00.45	OPEN		
	女子	濱田 莉子	2	予選	2.12.82	OPEN	
佐野 仁美		2	予選	2.17.60	21		
松永 真彩子		4	予選	2.18.69	23		

400m自由形	男子	増田 達哉	3	予選	4.02.74	4	
				決勝	4.03.33	4	
		大門 慶悟	2	予選	4.10.96	13	
		山田 晃誠	2	予選	4.12.56	16	
	女子	松永 真彩子	4	予選	4.54.91	12	
1500m自由形	男子	大門 慶悟	2	夕決	16.33.89	5	
100m背泳ぎ	男子	高大輔	3	予選	57.39	4	
				決勝	56.85	4	
		福本 勝太	3	予選	57.93	7	
				決勝	57.55	8	
	大平 理登	1	予選	58.52	11		
			B決	58.91	6		
	西垣 祐輝	3	夕決	1.01.04	OPEN		
	女子	山城 夢芽	1	予選	1.08.71	18	
200m背泳ぎ	男子	高大輔	3	予選	2.04.90	2	
				決勝	2.03.36	3	
		福本 勝太	3	予選	失格		
	女子	山城 夢芽	1	予選	2.27.29	10	
100m平泳ぎ	男子	平井 佑典	4	予選	1.01.31	1	☆☆大会新
				決勝	1.01.38	1	
		重塚 笙	1	予選	1.04.43	16	
				B決	1.04.02	7	
		木村 拓真	4	予選	1.04.58	19	☆
		齊藤 迅	4	予選	1.04.61	21	☆
		佐藤 亮士	3	予選	1.06.08	26	
		窪田 聖	4	予選	1.06.15	27	
武樋 祥太郎	3	予選	1.07.16	29			
	八木 大輝	2	夕決	1.07.34	OPEN		
200m平泳ぎ	男子	重塚 笙	1	予選	2.17.52	6	
				決勝	2.15.97	4	
		平井 佑典	4	予選	2.16.55	3	☆
				決勝	2.18.13	6	
		齊藤 迅	4	予選	2.18.92	12	
		八木 大輝	2	予選	2.21.76	18	
武樋 祥太郎	3	予選	2.26.00	27			
窪田 聖	4	予選	2.29.47	28			
100mバタフライ	男子	好川 大雅	3	予選	54.40	5	
				決勝	54.02	4	☆
		植田 竜成	4	予選	55.10	10	
				B決	54.97	3	☆
		杉井 郁哉	3	予選	55.65	13	
				B決	55.75	6	
		永井 悠介	1	予選	55.78	16	
B決	55.84			7			
濱 享輔	2	夕決	57.38	OPEN	☆タイ		
藤原 大彰	3	夕決	58.79	OPEN	☆		
有友 敬亮	3	夕決	59.69	OPEN			

100mバタフライ	女子	渡瀬 夢花里	1	予選	1.03.07	6	
				決勝	1.02.82	6	
		三浦 結依	3	予選	1.11.45	24	
200mバタフライ	男子	永井 悠介	1	予選	2.03.82	6	
				決勝	2.03.27	8	
		植田 竜成	4	予選	2.04.51	10	
		濱 享輔	2	予選	2.09.00	21	
		杉井 郁哉	3	予選	2.13.53	28	
	藤原 大彰	3	夕決	2.10.62	24	☆	
	女子	渡瀬 夢花里	1	予選	2.17.52	2	☆
		決勝	2.16.22	2	☆		
200m個人メドレー	男子	田中 一路	2	予選	2.06.89	3	
				決勝	2.05.23	2	
		大谷 雄剛	4	予選	2.06.82	2	☆
			決勝	2.08.16	8		
	楠田 将也	3	予選	2.15.42	22		
女子	濱田 莉子	2	予選	2.25.48	10		
400m個人メドレー	男子	田中 一路	2	予選	4.30.84	5	
				決勝	4.29.70	3	
		楠田 将也	3	予選	4.56.54	22	
	大谷 雄剛	4	夕決	4.32.65	OPEN		
4×100mフリーリレー	男子	清水 歩空	1	夕決	51.44	3	☆
		久世 航大	2		51.49		
		増田 達哉	3		51.85		
		三原 慶悟	3		51.27		
		計			3.26.05		
	女子	天野 百望	2	夕決	59.80	6	
		濱田 莉子	2		59.08		☆
		山城 夢芽	1		1.02.34		
		渡瀬 夢花里	1		1.00.73		☆
		計			4.01.95		
4×100mメドレーリレー	男子	高大輔	3	夕決	57.04	2	
		平井 佑典	4		1.00.53		☆
		好川 大雅	3		54.53		
		三原 慶悟	3		50.99		
		計			3.43.09		大会新
	女子	山城 夢芽	1	夕決	1.08.45	6	
		濱田 莉子	2		1.16.87		
		渡瀬 夢花里	1		1.03.68		
		天野 百望	2		1.02.17		
		計			4.31.17		
4×200mフリーリレー	男子	三原 慶悟	3	夕決	1.53.43	2	
		清水 歩空	1		1.52.26		☆
		田中 一路	2		1.55.48		
		増田 達哉	3		1.54.23		
		計			7.35.40		

4×200mフリーリレー	女子	濱田 莉子	2	夕決	2.10.30	5	☆
		天野 百望	2		2.14.40		
		山城 夢芽	1		2.16.72		
		渡瀬 夢花里	1		2.12.01		☆
		計			8.53.43		

観戦記

山城 夢芽

今回の試合は、全員参加の試合でありチームの団結力の強さをとても感じる二日間だった。関西学生選手権や日本学生選手権のメンバーをかけた試合も本大会を含め残り二試合となり、緊張感の溢れる種目も数々あった。今回の試合で見つけた自分の強みや課題を受け止め、これからの試合に活かしていこうと思う。

5. 第91回兵庫県選手権水泳競技大会

開催日：2021/6/11(土)~6/12(日)

会場：神戸ポートアイランドスポーツセンター

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

種目	男女	氏名	学年	予/決	記録	順位	備考
50m自由形	男子	堀 敬貴	4	予選	23.51	2	☆
				決勝	23.57	4	
		三野 漠	4	予選	23.73	5	☆
				決勝	23.75	7	
		三原 慶悟	3	予選	23.80	7	
				決勝	23.54	3	
		田中 駿真	2	予選	24.43	11	
				B決	24.32	3	
	高橋 優輝	3	予選	25.45	33		
	山田 晃誠	2	予選	25.47	36		
	大門 慶悟	2	予選	25.99	55		
	女子	天野 百望	2	予選	27.13	12	
				B決	26.91	1	
	100m自由形	男子	堀 敬貴	4	予選	51.14	1
決勝					51.34	5	
三原 慶悟			3	予選	51.14	1	☆
				決勝	51.44	6	
清水 歩空			1	予選	51.76	6	
				決勝	52.14	8	
大平 理登			1	予選	52.22	12	
				B決	52.45	3	
三野 漠			4	予選	52.86	15	
				B決	52.62	4	
垣内 柊人		1	予選	53.06	16	☆	
			B決	53.34	8		
田中 駿真		2	予選	53.37	18	☆	
伊藤 寛記		1	予選	53.41	19		
女子	天野 百望	2	予選	58.21	10		
			B決	58.06	1		
松永 真彩子	4	予選	1.03.62	75			
200m自由形	男子	清水 歩空	1	予選	1.53.86	1	
				決勝	1.52.40	1	
		増田 達哉	3	予選	1.54.24	5	
				決勝	1.52.70	2	

200m自由形	男子	垣内 柊人	1	予選	1.57.10	16	
		伊藤 寛記	1	予選	1.59.05	22	☆
400m自由形	男子	増田 達哉	3	予選	4.00.75	3	
		田中 一路	2	決勝	3.59.46	3	
100m背泳ぎ	男子	高 大輔	3	予選	57.16	2	
				決勝	56.62	2	
200m背泳ぎ	男子	西垣 祐輝	3	予選	2.16.63	8	
				決勝	2.14.66	7	
50m平泳ぎ	男子	平井 佑典	4	予選	28.72	5	
				決勝	27.91	1	☆
		佐藤 亮士	3	予選	29.66	7	
				決勝	30.29	8	
		楠田 将也	3	予選	31.74	20	
100m平泳ぎ	男子	平井 佑典	4	予選	1.03.54	5	
				決勝	1.01.84	1	
		重塚 笙	1	予選	1.04.19	6	
				決勝	1.03.75	6	☆タイ
		斉藤 迅	4	予選	1.05.05	10	
				B決	1.05.15	4	
		窪田 聖	4	予選	1.05.27	14	☆
B決	1.05.09			3	☆		
佐藤 亮士	3	予選	1.06.33	18			
八木 大輝	2	予選	1.06.76	19			
200m平泳ぎ	男子	平井 佑典	4	予選	2.16.73	2	
				決勝	2.30.30	8	
		重塚 笙	1	予選	2.17.39	5	
				決勝	2.16.38	3	
		斉藤 迅	4	予選	2.17.95	6	☆
決勝	2.19.21			6			
八木 大輝	2	予選	2.21.30	9			
窪田 聖	4	予選	2.34.81	24			
100mバタフライ	男子	植田 竜成	4	予選	54.85	3	☆
	決勝			55.01	4		
	女子	渡瀬 夢花里	1	予選	1.03.45	6	
決勝				1.02.93	6		
200mバタフライ	男子	植田 竜成	4	予選	2.03.99	2	
				決勝	2.04.85	3	

200mバタフライ	男子	大門 慶悟	2	予選	2.09.78	7	☆
				決勝	2.10.21	7	
	女子	藤原 大彰	3	予選	2.10.01	8	☆
				決勝	2.10.31	8	
200m個人メドレー	男子	田中 一路	2	予選	2.08.93	5	
				決勝	2.05.88	3	
	男子	大平 理登	1	予選	2.09.11	6	
				決勝	2.07.78	5	
		楠田 将也	3	予選	2.13.59	13	

観戦記

清水 歩空

今回の試合は兵庫県一を決める大会であり、インカレの参加標準記録の突破を目標とした選手が多く、熱いレースとなった。特に、平井主将の日本記録保持者を抑えて優勝したレースはとても刺激的だった。また、自分自身、200m自由形で優勝することができ、とても良い経験になった。

6. 2022 年度大阪府選手権水泳競技会

開催日：2022/06/11(土)～2022/06/22(日)

会場：丸善インテックプール

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

種目	男女	氏名	学年	予/決	記録	順位	備考
50m自由形	女子	佐野 仁美	2	予選	29.22	68	
		濱田 莉子	2	予選	27.95	22	☆
100m自由形	女子	佐野 仁美	2	予選	1.03.23	75	
200m自由形	女子	濱田 莉子	2	予選	2.10.63	20	
50mバタフライ	男子	好川 大雅	3	予選	24.75	1	
			3	決勝	24.45	1	
100mバタフライ	男子	好川 大雅	3	予選	54.65	4	
				決勝	54.93	4	
200m個人メドレー	女子	濱田 莉子	2	予選	2.26.72	19	
400m個人メドレー	男子	大谷雄剛	4	予選	4.35.68	8	
				決勝	4.37.07	8	

観戦記

渡瀬 夢花里

今回の試合は関カレ前の最後の試合だったため、各々現状把握や課題を見つけることが出来たと思う。多い人は4週連続の試合の4週目だったが、疲労もある中でベストタイムに近いタイムで泳ぐ選手や、ベストタイムを更新する選手もいて、収穫の多い試合になったと思う。私も、コンディションに関わらず、安定したタイムを出せる選手を目指したいと思った。

7. 第96回関西学生選手権水泳競技大会

開催日：2022/7/22(金)~2022/7/24(日)

会場：丸善インテック大阪プール

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

男子50m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	本田 海雅	同志社大	22.93	
②	猿山 翔太	同志社大	23.12	
③	望月 智裕	びわこ成蹊大	23.27	
⑤	三原 慶悟	関西学院	23.38	☆
⑥	久世 航大	関西学院	23.46	
予選	久世 航大	関西学院	23.51	
予選	三原 慶悟	関西学院	23.44	
予選	三野 漠	関西学院	24.06	

女子50m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	河岸 凜子	大阪体育大学	26.51	
②	國友 芙緒	同志社大	26.61	
③	新山 くるみ	大阪体育大学	26.73	
⑥	天野 百望	関西学院	27.01	
予選	天野 百望	関西学院	27.21	

男子100m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	木本 憲大	近畿大	50.09	
②	本田 海雅	同志社大	50.24	
③	堀 敬貴	関西学院	50.91	☆
⑥	三原 慶悟	関西学院	51.30	
⑧	清水 歩空	関西学院	51.63	
予選	堀 敬貴	関西学院	51.17	
予選	三原 慶悟	関西学院	51.30	
予選	清水 歩空	関西学院	51.58	

女子100m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	難波 実夢	近畿大	56.34	
②	高谷 海咲	武庫川女子大	57.45	
③	天野 百望	関西学院	58.05	
予選	天野 百望	関西学院	58.60	
予選	佐野 仁美	関西学院	1.02.03	

男子200m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	渡邊 天馬	近畿大	1.48.50	
②	黒川 紫唯	近畿大	1.50.06	
③	多鹿 正洋	近畿大	1.50.73	
⑤	増田 達哉	関西学院	1.53.62	
⑧	清水 歩空	関西学院	1.54.79	
予選	清水 歩空	関西学院	1.53.62	
予選	増田 達哉	関西学院	1.53.88	
予選	山田 晃誠	関西学院	1.56.59	

女子200m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	渡邊 実有	武庫川女子大	2.05.42	
②	横田 涼乃	関西大	2.05.85	
③	藤本 天海	近畿大	2.08.61	
予選	佐野 仁美	関西学院	2.15.42	

男子400m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	黒川 紫唯	近畿大	3.50.58	大会新
②	菖池 竜輝	近畿大	3.54.27	
③	渡邊 天馬	近畿大	3.58.43	
④	増田 達哉	関西学院	4.00.51	
予選	増田 達哉	関西学院	4.02.91	
予選	山田 晃誠	関西学院	4.09.30	
予選	大門 慶悟	関西学院	4.10.33	

女子400m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	梶本 一花	同志社大	4.15.02	
②	種村 舞雪	近畿大	4.16.67	
③	高谷 海咲	武庫川女子大	4.24.46	
予選	松永 真彩子	関西学院	4.54.60	

男子1500m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
夕決①	今村 圭吾	近畿大	15.35.28	
夕決②	菫池 竜輝	近畿大	15.37.68	
夕決③	生見 泰聖	近畿大	15.39.02	
夕決⑥	大門 慶悟	関西学院	16.25.73	

男子100m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	岡田 幸大	近畿大	56.08	
②	奈須 一樹	近畿大	56.33	
③	高 大輔	関西学院	56.74	
予選	高 大輔	関西学院	57.45	
予選	福本 勝太	関西学院	棄権	
予選	大平 理登	関西学院	棄権	

男子200m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	奈須 一樹	近畿大	2.01.83	
②	高 大輔	関西学院	2.02.61	☆
③	辻野 優輝	近畿大	2.02.86	
⑧	福本 勝太	関西学院	2.08.19	
予選	高 大輔	関西学院	2.03.13	
予選	福本 勝太	関西学院	2.08.32	

男子100m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	平井 佑典	関西学院	1.01.13	
②	廣本 新	関西大	1.01.62	
③	森 圭佑	大阪体育大	1.02.10	
予選	平井 佑典	関西学院	1.01.05	☆ ★
予選	斉藤 迅	関西学院	1.04.70	
予選	木村 拓真	関西学院	1.04.14	☆

男子200m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	廣本 新	関西大	2.13.29	
②	橋本 響	同志社大	2.14.23	
③	今西 優太	近畿大	2.14.89	
④	重塚 笙	関西学院	2.15.32	☆
⑦	平井 佑典	関西学院	2.16.40	☆
予選	重塚 笙	関西学院	2.15.53	
予選	斉藤 迅	関西学院	2.18.67	
予選	平井 佑典	関西学院	2.16.99	

男子100mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	塚本 康介	近畿大	53.24	
②	平野 柊生	近畿大	54.02	
③	峰尾 迅	同志社大	54.45	
④	好川 大雅	関西学院	54.51	
⑦	杉井 郁哉	関西学院	55.00	
予選	好川 大雅	関西学院	54.88	
予選	永井 悠介	関西学院	55.68	
予選	杉井 郁哉	関西学院	55.34	

女子800m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
夕決①	梶本 一花	同志社大	8.45.10	
夕決②	種村 舞雪	近畿大	8.54.96	
夕決③	内田 真樹	武庫川女子大	9.01.51	
夕決⑩	松永 真彩子	関西学院	10.20.12	

女子100m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	渡会 円香	同志社大	1.02.11	
②	松宮 真衣	近畿大	1.02.62	
③	山下 沙知	武庫川女子大	1.05.00	
予選	山城 夢芽	関西学院	1.09.96	

女子200m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	松宮 真衣	近畿大	2.12.80	
②	渡会 円香	同志社大	2.14.01	
③	土本 夕愛	びわこ成蹊大	2.18.75	
予選	濱田 莉子	関西学院	2.25.65	
予選	山城 夢芽	関西学院	2.30.23	

女子100m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	岡田 侑奈	近畿大	1.09.18	
②	熊野 亜美	武庫川女子大	1.11.44	
③	小阪 愛音	武庫川女子大	1.11.61	

女子200m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	松木 琴美	近畿大	2.30.11	
②	小阪 愛音	武庫川女子大	2.30.48	
③	岡田 侑奈	近畿大	2.33.34	

女子100mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	林 希菜	同志社大	59.93	
②	梶野 千紗	近畿大	1.00.52	
③	星山 茅奈	近畿大	1.00.62	
予選	三浦 結依	関西学院	1.11.96	
予選	渡瀬 夢花里	関西学院	1.02.80	

男子200mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	森本 哲平	近畿大	1.56.84	関西新
②	平野 柊生	近畿大	1.57.90	
③	塚本 康介	近畿大	1.59.12	
⑤	永井 悠介	関西学院	2.01.11	
⑥	植田 竜成	関西学院	2.02.89	☆
予選	永井 悠介	関西学院	2.03.00	
予選	濱 享輔	関西学院	2.07.97	☆
予選	植田 竜成	関西学院	2.03.72	

男子200m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	井狩 裕貴	近畿大	1.59.08	関西新
②	木本 憲太	近畿大	1.59.68	大会新
③	田中 健仁	近畿大	2.04.26	
④	田中 一路	関西学院	2.04.70	
予選	田中 一路	関西学院	2.07.47	
予選	大谷 雄剛	関西学院	2.08.55	

男子400m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	井狩 裕貴	近畿大	4.15.50	
②	前田 大輝	近畿大	4.27.64	
③	田中 一路	関西学院	4.28.75	
予選	大谷 雄剛	関西学院	失格	
予選	田中 一路	関西学院	4.32.72	
予選	楠田 将也	関西学院	4.59.23	

男子4×100m フリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	近畿大	木本・井狩	3.20.30	大会新
		羽岡・渡邊		
②	同志社大	本田・猿山	3.22.98	
		尾脇・岡本		
③	関西学院	清水・堀	3.24.33	
		三原・久世		

男子4×200m フリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	近畿大	平野・井狩	7.21.93	大会新
		渡邊・菫池		
②	関西学院	増田・清水	7.31.77	
		三原・高		
③	同志社大	岡本・長島	7.32.53	
		説田・寺島		

男子4×100m メドレーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	近畿大	奈須・大日向	3.40.06	
		塚本・井狩		
②	天理大	入江・渡辺	3.44.54	
		中村・椎名		
③	同志社大	河南・橋本	3.45.51	
		十亀・本田		
④	関西学院	高・平井	失格	
		永井・三原		

女子200mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	林 希菜	同志社大	2.09.98	
②	木本 緋奈乃	武庫川女子大	2.14.55	
③	田中 唯稀	武庫川女子大	2.15.46	
⑤	渡瀬 夢花里	関西学院	2.15.92	☆ ★
予選	渡瀬 夢花里	関西学院	2.17.55	

女子200m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	難波 実夢	近畿大	2.16.43	
②	杉山 わか菜	同志社大	2.20.44	
③	青山 美咲	大阪体育大学	2.20.88	
予選	濱田 莉子	関西学院	2.26.71	

女子400m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	柊井 萌	大阪体育大学	4.56.19	
②	山村 莉子	大阪体育大学	4.59.20	
③	松木 琴美	近畿大	4.59.28	

女子4×100m フリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	近畿大	天野・濱田	3.47.72	大会新
		種村・星山		
		松宮・難波		
②	同志社大	渡会・杉山	3.49.47	
		國友・梶本		
③	大阪体育大学	新山・河岸	3.52.33	
		山村・青山		
④	関西学院	天野・濱田	3.59.57	
		山城・渡瀬		

女子4×200m フリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	同志社大	梶本・渡会	8.16.15	
		林・杉山		
②	近畿大	種村・松宮	8.23.12	
		藤本・梶野		
③	武庫川女子大	高谷・渡邊	8.27.23	
		前田・内田		
⑦	関西学院	濱田・天野	8.48.13	
		佐野・渡瀬		

女子4×100m メドレーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	近畿大	松宮・岡田	4.11.02	
		梶野・種村		
②	同志社大	渡会・梶本	4.12.05	
		林・國友		
③	武庫川女子大	山下・熊野	4.17.20	
		田中・高谷		
④	関西学院	山城・濱田	4.26.33	
		渡瀬・天野		

総合順位

(男子一部)

1位	近畿大	272.0点
2位	同志社大	113.0点
3位	関西学院	111.0点
4位	大阪体育大	71.0点
5位	天理大	54.0点
6位	関西大	40.0点
7位	びわこ成蹊大	21.0点
8位	大阪教育大	19.0点

(女子一部)

1位	近畿大	188.0点
2位	武庫川女子大	144.0点
3位	同志社大	131.0点
4位	大阪体育大	97.5点
5位	関西大	71.5点
6位	びわこ成蹊大	29.0点
7位	立命館大	23.0点
8位	関西学院	21.0点

観戦記

永井 悠介

私にとって、初めてのカンカレを経験することができた。入学してから初めての学校対抗の試合であり、今までの試合よりも緊張感のある試合だった。私自身、楽しもうと思って望んだ試合だったが、緊張感にのまれてしまい不甲斐ない結果で終わってしまった。しかし、私が落とした点数を、先輩方、同期が取り返そうとする姿に、感動しました。来年は結果を出せるように、今年の悔しさを糧にし、支えてくれた先輩方への感謝の気持ちを忘れることなく、日々精進していきたい。

8. 第10回関西学生夏季長水路公認記録会

開催日：2022/8/21(日)

会場：丸善インテック大阪プール

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

種目	男女	氏名	学年	予/決	記録	順位	備考
50m自由形	男子	高橋 優輝	3	夕決	25.66	50	
		小嶋 虹佑	1	夕決	24.54	14	
		田中 駿真	2	夕決	24.45	13	
		長澤 樹	2	夕決	24.95	28	
100m自由形	女子	松永 真彩子	4	夕決	1.03.75	13	
	男子	高橋 優輝	3	夕決	57.25	48	
		田中 駿真	2	夕決	53.92	13	
		小嶋 虹佑	1	夕決	54.02	14	
		長澤 樹	2	夕決	56.27	38	
		垣内 柊人	1	夕決	53.43	8	
伊藤 寛記	1	夕決	53.56	10			
200m自由形	女子	松永 真彩子	4	夕決	2.18.43	11	
	男子	垣内 柊人	1	夕決	1.56.84	6	☆
		伊藤 寛記	1	夕決	2.04.16	27	
		小嶋 虹佑	1	夕決	2.02.59	24	
400m自由形	男子	大門 慶悟	2	夕決	4.10.07	3	
1500m自由形	男子	大門 慶悟	2	夕決	16.22.00	2	
100m背泳ぎ	男子	西垣 祐輝	3	夕決	1.01.48	8	
100m平泳ぎ	男子	八木 大輝	2	夕決	1.06.26	12	☆
		佐藤 亮士	3	夕決	1.06.50	14	
		武樋 祥太郎	3	夕決	1.06.42	13	
		窪田 聖	4	夕決	1.07.02	15	
		木村 拓真	4	夕決	1.04.64	4	
200m平泳ぎ	男子	八木 大輝	2	夕決	2.21.55	6	
		木村 拓真	4	夕決	2.37.24	25	
100mバタフライ	女子	三浦 結依	3	夕決	1.12.14	12	
	男子	有友 敬亮	3	夕決	1.02.10	35	
		藤原 大彰	3	夕決	59.28	18	
		濱 享輔	2	夕決	57.15	9	
200mバタフライ	男子	藤原 大彰	3	夕決	2.10.80	6	
		濱 享輔	2	夕決	2.09.98	5	

200m個人メドレー	男子	楠田 将也	3	夕決	2.18.76	21	
------------	----	-------	---	----	---------	----	--

観戦記

垣内 柊人

今回の試合は、インカレに出場しない選手にとってはシーズン最後の大会だった。会場の都合で、ストレッチスペースが設けられておらず、ウォーミングアップもできないという制限された環境下であったが、そのような中でも実力を十分に発揮できる選手になりたいと思った。この大会で得たものを来シーズンに繋げ、来年は今回出場した選手の中から一人でも多くレギュラー獲得やインカレに出場することができればいいと思う。

9. 第 98 回 日本学生選手権水泳競技大会

開催日：2022/8/28(日)~2022/8/31(水)

会場：東京辰巳国際水泳場

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

男子50m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	松本 周也	中京大	22.13	
②	今野 太介	早稲田大	22.19	
③	須田 悠介	早稲田大	22.32	
予選	久世 航大	関西学院	23.81	
予選	三原 慶悟	関西学院	23.85	
予選	三野 漠	関西学院	23.88	

女子50m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	池江 璃花子	日本大	25.09	
②	今牧 まりあ	早稲田大	25.37	
③	神野 ゆめ	中京大	25.39	
予選	天野 百望	関西学院	26.79	

男子100m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	田中 大寛	早稲田大	49.33	
②	須田 悠介	早稲田大	49.39	
③	伊藤 祐馬	山梨学院大	49.45	
予選	堀 敬貴	関西学院	51.10	
予選	三原 慶悟	関西学院	51.75	
予選	清水 歩空	関西学院	52.05	

女子100m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	池江 璃花子	日本大	54.26	
②	池本 凧沙	中央大	54.35	
③	神野 ゆめ	中京大	55.05	
予選	天野 百望	関西学院	57.91	☆

男子200m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	田中 大寛	早稲田大	1.48.42	
②	柳本 幸之介	日本大	1.48.79	
③	石崎 慶祐	日本大	1.48.91	
予選	清水 歩空	関西学院	1.53.78	
予選	増田 達哉	関西学院	1.53.82	
予選	山田 晃誠	関西学院	1.57.11	

女子200m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	池本 凧沙	中央大	1.58.99	
②	永島 遥	東洋大	2.00.23	
③	今井 美祈	中京大	2.01.05	

男子400m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	井本 一輝	中央大	3.48.71	
②	田淵 海斗	明治大	3.49.91	
③	黒川 紫唯	近畿大	3.50.36	
予選	増田 達哉	関西学院	4.03.14	

女子400m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	難波 実夢	近畿大	4.07.43	
②	小堀 倭加	日本大	4.09.73	
③	古八 優季	中京大	4.11.10	

男子1500m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	井本 一輝	中央大	15.14.59	
②	本山 空	新潟医福大	15.28.14	
③	庭野 直樹	明治大	15.28.77	

女子800m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	難波 実夢	近畿大	8.35.65	
②	小堀 倭加	日本大	8.37.03	
③	古八 優季	中京大	8.38.54	

男子100m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	柳川 大樹	明治大	54.35	
②	眞野 秀成	日本大	54.64	
③	三浦 玲央	筑波大	55.03	
予選	高 大輔	関西学院	57.14	
予選	福本 勝太	関西学院	58.08	
予選	大平 理登	関西学院	58.65	

女子100m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	秀野 由光	神奈川大	1.01.03	
②	山崎 光	新潟医福大	1.01.56	
③	渡会 円香	同志社大	1.01.89	

男子200m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	西小野 皓大	中京大	1.57.14	
②	眞野 秀成	日本大	1.58.29	
③	柳川 大樹	明治大	1.58.76	
予選	高 大輔	関西学院	2.05.14	
予選	福本 勝太	関西学院	棄権	

男子100m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	間島 亮太郎	筑波大	1.00.00	
②	平河 楓	早稲田大	1.00.26	
③	本田 航平	日本体育大	1.00.49	
B決⑧	平井 佑典	関西学院	1.01.80	
予選	平井 佑典	関西学院	1.01.68	
予選	重塚 笙	関西学院	1.03.78	

男子200m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	佐藤 翔馬	慶應義塾大	2.08.46	
②	深沢 大和	慶應義塾大	2.10.49	
③	平河 楓	早稲田大	2.11.09	
予選	重塚 笙	関西学院	2.15.62	
予選	齊藤 迅	関西学院	2.19.21	
予選	平井 佑典	関西学院	2.20.81	

男子100mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	石川 慎之助	日本大	51.84	
②	西田 拓郎	神奈川大	51.92	
③	塚本 康介	近畿大	52.62	
予選	好川 大雅	関西学院	54.87	
予選	永井 悠介	関西学院	55.29	
予選	杉井 郁哉	関西学院	55.69	

男子200mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	本田 灯	日本大	1.54.06	
②	森本 哲平	近畿大	1.55.95	
③	寺門 弦輝	日本大	1.56.95	
予選	永井 悠介	関西学院	2.00.87	
予選	植田 竜成	関西学院	2.06.87	

男子200m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	小方 颯	日本大	1.58.10	
②	松本 周也	中京大	1.58.52	
③	井狩 裕貴	近畿大	1.58.86	
予選	田中 一路	関西学院	2.07.49	
予選	大谷 雄剛	関西学院	2.08.20	

男子400m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	本多 灯	日本大	4.11.29	
②	小方 颯	日本大	4.13.26	
③	寺門 弦輝	日本大	4.13.69	
予選	大谷 雄剛	関西学院	4.33.94	
予選	田中 一路	関西学院	棄権	

女子200m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	秀野 由光	神奈川大	2.12.29	
②	又木 愛紗	日本体育大	2.12.81	
③	関口 真穂	法政大学	2.13.52	

女子100m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	今井 月	東洋大	1.06.99	
②	浅羽 菜	早稲田大	1.07.14	
③	緒方 温菜	中央大	1.07.78	

女子200m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	今井 月	東洋大	2.23.02	
②	宮坂 倭乃	明治大	2.25.58	
③	浅羽 菜	早稲田大	2.25.66	

女子100mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	飯塚 千遥	筑波大	58.40	
②	津田 萌咲	新潟医福大	58.82	
③	廣下 菜月	中京大	58.84	

女子200mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	内田 かりん	神奈川大	2.08.64	
②	山岸 琴美	東洋大	2.09.02	
③	林 希菜	同志社大	2.09.18	
予選	渡瀬 夢花里	関西学院	2.16.96	

女子200m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	松本 信歩	神奈川大	2.08.64	
②	石原 愛依	東洋大	2.09.02	
③	佐藤 梨央	同志社大	2.09.18	
予選	濱田 莉子	関西学院	2.26.28	

女子400m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	梶本 一花	同志社大	4.40.30	
②	佐藤 梨央	青山学院大	4.42.93	
③	室木 未菜	神奈川大	4.46.03	

男子4×100m フリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	日本大	石崎・本多 柳本・眞野	3.16.69	
②	早稲田大	田中・須田 今野・菅野	3.17.47	
③	中京大	内藤・宮本 高橋・松本	3.18.85	
予選	関西学院	高・久世 清水・堀	3.25.51	

女子4×100m フリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	中京大	神野・居林 廣下・今井	3.41.64	
②	東洋大	永島・山本 山岸・今井	3.43.33	
③	早稲田大	今牧・船越 松本・佐々木	3.44.65	
予選	関西学院	天野・濱田 佐野・渡瀬	4.00.55	

男子4×200m フリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	日本大	本多・柳本 眞野・吉田	7.11.06	
②	近畿大	渡邊・井狩 木本・黒川	7.17.26	
③	明治大	清水・廣島 五味・田淵	7.18.22	
B決⑤	関西学院	増田・清水 堀・高	7.31.02	
予選	関西学院	増田・清水 堀・高	7.31.98	

女子4×200m フリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	中京大	古八・神野 神田・今井	7.11.06	
②	東洋大	永島・山本 山岸・竹村	7.17.26	
③	日本大	古井丸・黒部 池江・小堀	7.18.22	

男子4×100m メドレーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	日本大	眞野・石田 本多・石崎	3.35.92	
②	早稲田大	村上・平河 田中・須田	3.36.23	
③	明治大	松山・荒井 柳川・五味	3.36.38	
B決⑥	関西学院	高・平井 永井・堀	3.43.18	
予選	関西学院	高・平井 永井・堀	3.42.47	

女子4×100m メドレーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	中京大	竹葉・吉田 廣下・神野	4.02.81	
②	早稲田大	亀井・浅羽 松本・今牧	4.03.02	
③	明治大	遠藤・宮坂 水口・田嶋	4.05.64	
予選	関西学院	山城・濱田 渡瀬・天野	4.24.91	

観戦記

重塚 笙

今回の日本学生選手権は昨年とは異なり、コロナで制限される前の本来の学生選手権に近い形式で開催された。そのような試合に一年生ながらも出場させていただいたことを光栄に思いつつ、私はこのインカレという大舞台で結果を残す為に毎日の練習に励んできた。だが、大舞台の雰囲気呑まれてしまい思うような結果が出ず一年目の夏を終えることとなってしまった。他大学の一年生でも決勝に進出し、活躍している選手も多数見られた。非常に悔しい思いをしたが、この悔しさを来年にぶつける為に今から来年の夏の目標を明確にし、日々の練習に取り組んでいきたい。

〈水球パート〉

1. 関西学生選手権水球競技大会

開催日：2022/7/2（土）、2022/7/3（日）、2022/7/9（土）、2022/7/10（日）

場所：大阪府立茨木高等学校、京都アクアリーナ

最終結果：第8位

第一試合 対大阪国際大学

関学	VS	大国	得点者
5	1 P	0	山口 3 神田 3 中元 2 濱口 2 村上 2 和田 1 辻本 1
4	2 P	1	
3	3 P	1	
2	4 P	1	
1 4	合計	3	

第二試合 大阪大学

関学	VS	阪大	得点者
1	1 P	1	中元 2 神田 2 山口 1 和田 1 辻本 1
0	2 P	3	
2	3 P	0	
2	4 P	1	
2	PS	4	
7	合計	9	

第三試合 対京都大学

関学	VS	京大	得点者
0	1 P	1	山口 1 中元 1
0	2 P	0	
0	3 P	2	
2	4 P	0	
2	合計	3	

第四試合 対大阪産業大学

関学	VS	大産	得点者
2	1 P	2	神田 3 中元 2 濱口 2 山口 1
1	2 P	0	
1	3 P	1	
4	4 P	1	
8	合計	4	

第五試合 対大阪国際大学

関学	VS	大国	得点者
7	1 P	0	山口 5 和田 4 中元 2 濱口 2 小野 2 大塚 2 神田 1 武本 1
4	2 P	2	
2	3 P	2	
6	4 P	1	
19	合計	5	

第六試合 対大阪産業大学

関学	VS	大産	得点者
2	1 P	0	辻本 3 山口 2 神田 2 中元 2 和田 2
4	2 P	3	
2	3 P	1	
3	4 P	4	
11	合計	8	

昨年と同じく一部昇格を目指し、雪辱を晴らすことを決意し、初戦に挑んだ。初戦の対戦相手は大阪国際大学だった。全員でゴールを狙い、14-3 で関学がゲームを制した。初戦の勢いそのまま迎えた大阪大学戦。前半で攻め切ることが出来ず、第2ピリオドで一気に3点差をつけられ、後半に差し掛かった。前半の反省点を即座に修正し、後半で同点にまで追い付いた。結果はPSに委ねられた。両者とも譲らない戦いが続いたが、7-9で敗北してしまった。窮地に追いやられ、臨んだ京都大学戦。序盤、京都大学に先制点を取られ、取り返そうと反撃を試みる。しかし、焦りが募り冷静さを欠いていたために決められるところで決め切ることが出来ず、なかなか点が入らない時間が続いた。さらに追加点を決められ、ロースコアの厳しい状況が続いた。後半追い上げたものの、結果は2-3で敗北した。一部昇格が絶望的な状況に追い込まれたが、気持ちを切り替えて迎えた大阪産業大学戦。またも先制点は大阪産業大学に取られたものの、すぐさま取り返し前半は激しい攻防戦が続いた。後半に差し掛かり、全員が必死に泳ぎ、攻撃と守備の切り替えを早くすることを意識して点を稼いだ。結果は8-4で勝利し、悪い流れをようやく断ち切ることが出来た。第5試合目は初戦で戦った大坂国際大学。前半から攻めの水球を行い、大量得点を挙げた。結果は19-5で見事勝利した。2連勝という良い流れで迎えた最終戦。相手は第4試合で戦った大阪産業大学。第4試合と同様に点取り合戦となり、前半から両者とも引けを取らない試合展開であった。一つでも上の順位で山口主将の花道を飾るため、最後は意地を見せ、11-8で勝利した。

Ⅲ. 現役部員紹介

4年間を振り返って

植田 竜成

姉が水泳を始めた影響で、3歳の頃から私も水泳を始めました。

もともと喘息持ちということもあり、少しでも改善出来れば良いなという気持ちで始めた水泳が約20年間もの時を得て、今こうして水泳人生の集大成を文字に綴っている事を思うと感慨深いものがあります。

この4年間を振り返ると、本当にたくさんの感情を表現してきたと思います。

入部当初、初めて顔を合わせる同期は各地方で活躍し、全国大会出場するレベルの高い選手ばかりでした。

全国大会を経験したことがない自分からすると、この同期の中で本当にやっていけるのか、不安と焦りからスタートしました。

1回生では、ふざけてばかりでバカで先輩から注意される事が多々ありました。それでも練習は真面目に取り組みました。とにかく、水泳部が楽しかった記憶があります。

とにかく全国大会に出場し、自分もチームと共に戦える選手になりたいとそれだけを目指して練習してきました。

しかし、そう簡単なものではなく1.2.3回生と1度も全国大会の標準を切ることも出来ませんでした。

そんな中、私は2回生の後半から水泳部史上初の試みである副務という役職に就きました。

副務は主務への過程として存在し、主務になった際に仕事がスムーズに行えるようにと作られた役職です。

当時はまだ2回生という事もあり、チームの役職に就くことにはかなりの不安がありました。ですが、私が副務に立候補した理由は1つです。

「チームの役に立ちたかったから。」

高校では主将を経験しましたが、私には人前に立ってチームを動かすことは向いていないと気づきました。ですが、何かしらの形でチームの役に立ちたいという思いは捨てきれず、副務の話聞いた時、これしかないと思いました。

今度は、縁下の力持ちとしてチームを支えようと決意しました。

そうして始まった、副務ですが、正直に言うとしんどかったし辛かったです。

2回生、3回生になっても周りの同期は役職は無い中、私は副務として見えない仕事を先輩方と行ってきました。その中でも選手として結果を出さなければいけないというプレッシャーや焦りに潰されそうになることが何度もありました。

4回生になり、主務へと繰り上がった時にも、何度も辞めたいと思う事がありました。

ですが、私が副務と主務の経験と4年間の競技人生を振り返って得た大きなものが2つあります。

1つは、原点を思い返すことです。

限界だって感じた時、いつも思い出すことがあります。

それは自分の「原点」です。

なんの為に、競技をやっているのか、自分の目標は何なのか必ず原点にかえります。

すると、辛いことも自分の目標の為であり、今を頑張るのは原点の為だと自然と力が湧いてきます。

2つ目はどんなときでも「笑顔」を忘れない事です。

練習が上手くいかずに腹が立った時、仕事が多く辛い時、友人関係に悩んだ時、私は様々な表情を経験しました。

恐らく、誰よりも喜怒哀楽が激しかったと思います。そんな私だからこそ言えることは、「笑顔」つまり笑う事が1番強い事です。

私は笑う事の強さに気づいたのが4回生になってからでした。少し遅かったです。

ですが、おかげで4回生の幹部として、強くいられたと思います。

もちろん役職だけでなく、競技にも結果が現れました。

1度も全国大会を経験したことのない私が4回生のラストシーズンで初めて200m バタフライで標準を突破する事が出来ました。

つまり、何が言いたいのか、それは「考え方一つで全てが変わる」という事です。

「原点」も「笑顔」も、私の考えには存在すらしなかったものです。

ですが、考え方を変えることで必ずどんな道でも開けると私は身をもって体験しました。

それが、私の4年間の全てです。

この学びは、今後の人生の中でも常に私の糧となり味方となってくれると思っています。

最後になりましたが、北村会長をはじめとするOB・OGの方々、岡田部長、内藤監督、今村さん、島さん、トレーナーの方々、それして長きに渡る理解者であり支え応援してくれた両親、多大なご指導とご支援いただき、本当にありがとうございました。

今後とも、KGUSTをよろしくお願いいたします。

「粘り、耐え抜く姿勢」

大谷 雄剛

8月末の日本学生選手権をもちまして15年間の選手生活を終えました。振り返りますと、小学生低学年時に姉の影響で週に1回から水泳教室に通い、気づけば選手クラスに所属しており毎日水泳漬けの日々を送ってきました。中学校に上がるまでトライアスロンと水泳を並行して取り組み、1種目に絞る際かなり迷いがありましたが、外的要因では言い訳のできない自分の取り組み方次第で結果の全てが決まる水泳が自分に合っているスポーツだと思い、水泳の道を選びました。中学生時は、練習を積み重ねれば積むだけ結果が伸びていましたが全国中学の標準記録に0.2秒足りず出場出来なかった苦い経験を思い出します。高校時は、練習を積みつつレベルの高い先輩、同期、後輩と競り合う楽しさを覚え、大阪、近畿高校と総合優勝を果たし個人としても大阪高校対抗試合で優勝し、大阪の強化認定選手にも選出して頂くことが出来、前向きに競技に取り組んでいたと思います。高校卒業時までは、悩み考え指導者からの指導を元に練習を積む事で記録を伸ばせていましたが、自身の掲げていたJAPAN Open・日本選手権出場といった目標を達成する事が出来なかった為、大学水泳では必ず成し遂げると意気込み、関学水泳部に入部した事を今でも昨日の事のように思い出します。

【高校時よりも練習タイムのレベルが高いのにもかかわらず試合ではタイムが出せない。練習で出来ている泳ぎが試合では発揮できない。】

試合が終わるたびに自問自答を繰り返し、毎度自身で考え取り組む水泳に嫌気がしました。水泳を辞めようと何度も考えましたが、苦戦しつつも粘り強くいつかは記録を更新したいと考えながら取り組み、紆余曲折ありましたが4年目でなんとか自己記録を更新する事が出来ました。最終学年では選手兼MLパートリーダーとして、「メニューを悩みながら組み、各選手にタイム・泳ぎの指導をする。」各選手にアプローチを行った分だけ練習タイム、レースタイムが良くなっていき、やり甲斐を感じられました。最後の1年は本当に公私共に充実していたと思います。私のメニューについてきてくれた選手、支えてくれたマネージャー、両親、同期にはとても感謝しています。

社会人となった際は人生最大の挫折が何度も更新されていくと思いますが、この水泳人生を思い出ししんどい時こそ「粘り、耐え抜く姿勢」を大切にしていきたいと思います。

最後に私の人生に道標を下さった内藤監督に感謝の言葉を綴らせて下さい。高校3年時の近畿高校にて、高大輔を伝って内藤監督とお話させて頂く機会を頂き今の私があります。監督にお会いする機会は試合時が多く、自身のレースに集中していた為感謝の気持ちを伝える事が出来ませんでしたので、この場をお借りしお礼を申し上げます。「私の人生に道標を下さったのが内藤監督です。感謝しています。本当にありがとうございました。」

4年間を振り返って

木村 拓真

はじめに、先輩方、同期、後輩をはじめ多くの人に支えられて幸せだと思いました。ありがとうございました。私にとって4年間はあっという間でとても充実した学生生活でした。なかでも最高学年になった1年間は本当に短く感じました。1年生の頃は三田キャンパスへの通学と上ヶ原への練習の往復に慣れずに練習回数が減って、満足のいく練習はできませんでした。その後の2年間は水泳に向き合うことが出来ず、最後の学年になったら本気でやると決意を固めて2年間過ごしました。そして最後の学年は有言実行を胸に練習も前向きに取り組むことができました。今思えば何も考えずに過ごした2年間は無駄ではなかったと思います。だからそこ最後の1年間は本気になれたのではないかと思います。

最高学年になって会計という役職を前任の有彩さんから引き継いで、不安なこともあり有彩さんには卒業してからもよく相談に乗っていただいていたいました。会計というのは、見えない仕事が多く頑張っても結果として見えるものがありません。ですが、円滑にチームを運営することが最高の結果であると感じました。会計という役職を通じて、競技面以外でも人間性という部分で大きく成長できたのではないかと考えております。

後輩たちには残り限られた水泳人生を謳歌して欲しいと思っています。競技面はもちろん、同期で揉める、話し合う、解決する、この先最高学年になって多くの課題にぶつかるとは思いますが、全て経験であり今後のためにも前向きに向き合ってください。

この4年間を振り返ってみると、楽しいことも、しんどいこともたくさんありました。でも、このチームで、この学年でやってくることができて、幸せでした。元々、小中高とクラブチームでやってきて、同年代もいない環境でしたが、大学生になって初めて「部活動」として水泳に取り組んでみて、何よりも感じたのは人間関係の部分が今までの水泳とは違うことです。そこに面白さも、難しさも感じました。

入学当初は正直、先輩や水泳部に関わってくださっていた大人の方々がおっしゃる「人間的成長」の意味が分からずにいました。しかし、今こうして引退した4回生の立場になってみると、競技面での著しい成長はありませんでしたが、「人間的成長」という部分では、とても大きく成長できたと感じます。

今の現役生たちに、これまでの僕の姿が、1回生の頃から、僕の面倒を見て下さった、憧れの田中先輩や平松先輩、仲村先輩の様に、映っているかはわかりません。僕自身も理想の先輩像でいることができなかったと思います。それでも、これまで僕のことを慕ってくれた後輩たち、応援してくれた方々、そして何より、こんな僕を受け入れてくれた同期には感謝しかないです。本当に、ありがとうございました。

インカレにおいて、最後のレースが終わった瞬間、足が震える程の疲労を感じると同時にベスト記録は出なかったものの、持っている全ての力を出し切り、心も身体も一気にスッと軽くなる不思議な感覚を覚えました。水泳を心から愛し、好きであるからこそしんどいことも乗り越えていたと自負していましたが、この瞬間、心身共知らぬ間に自分を極限まで追い込んでいたのだと痛感しました。

このような競技人生最後の瞬間を迎えましたが、競技面と生活面を総合して、「大学水泳は楽しかった」という言葉は引退した今だからこそ言えるのかもしれませんが…。

競技面において、入学して以来、約3年間、本命種目である平泳ぎ(100m、200m)において短水路・長水路共に全くベストが出ない期間が続きました。その要因としては、古巣である高校までの13年間通っていたスイミングスクールから、学生主体という未知の環境に対応しきれなかったことが間違いなく挙げられます。担当コーチが変わっていったとはいえ、時代にそぐわない指導法を受けながらもそのおかげで誰にも負けない継続力と根性を鍛え上げてもらいつつ、自分の泳ぎを理解し、的確なアドバイスをもらうことが当たり前の環境でした。しかし、入部前から学生主体ということを理解した上で本部活動に入部したはずでしたが、自分の泳ぎを見失い、フォームを崩しながら追い込み続けた結果、悪い泳ぎの癖が抜けなくなるという悪循環に陥りました。この日々を過ごしている最中は、到底「大学水泳は楽しい」と感じるはずありません。

そのようなことがあった中で、ラストシーズンにベスト記録を連発できたのは、自分の長所である努力の継続を活かしたのもありますが、それ以上に周りの人達の存在が大きかったです。生意気な後輩にも関わらず、引退する直前まで、引退後も声をかけてくださる先輩方。難しい勝手な要望にも完璧に応えてくださるマネージャー方。他人の泳ぎや記録を自分のことのように気にかけてくれる同種目のライバル達。苦しいことを共有してきた同期達。折れそうな時に煽ってくれる素晴らしい後輩達。その他にも関わってくださった全ての方々が居たからこそ、毎日を乗り越え、ラストシーズンだけになりましたが、今まで越えることのできなかつた過去の自分を越えることができたのだと強く感じています。

上記の通り、結果が全ての競技の世界において、大学水泳最後にベスト記録を連発でき、後悔の無い形で引退できたのは、大学で競技をして良かった、楽しかったと自信を持って言える1つの指標になっているのではないかと思います。

他方、生活面では、全く英語に触れてこなかった自分が、国際学部？帰国子女多数？90分英語で授業？海外留学？TOEIC、TOEFL、IELTS…？正直不安でしかありませんでした。ただ蓋を開けてみれば、英語のクラスは自分と同レベルの人達の集まりでしたが、授業の内容が分からない自分に虚無感を覚え、授業が辛かったです。しかし、水泳部の国際学部の大先輩方は偉大でした。完璧な履修の組み方、先輩方のレジュメ、教科書をご教授・お譲り頂いたおかげで私事ながら、毎年学部においてGPA成績で顕彰されるまでになりました。1人では確実にどうすることも出来ませんでした。先輩方のおかげで学業・人間関係共に楽しい大学生活を送ることができました。

一方、本部活動に入部した当初の4年生は3歳上とは思えず、同期の植田とはよく、「カッコ良すぎる、ゴレンジャーみたい」と話すと同時に「ああいう風な4年生になりたい」と会話を頻繁に交えていました。幹部学年を終えた今、後輩達に大人のような振る舞いを見せ、憧れを抱かせるような先輩であったとは言い難いですが、自分達の色を出して、平井主将の下、雰囲気の良い部活動作りには励むことが出来たのではないかと感じています。

全て思い描いた通りの毎日を送り、上手く物事を運べたわけではありませんが、学業と競技を両立する厳しさ、組織運営の難しさを経験し、学べたことは非常に今後の人生においても糧になると自負しています。大学生ならではの体験をし、充実した生活を送ることができました。

結びに、本部活動に打ち込む上で、「競技力の向上」と「人間的成長」の実現は到底簡単なものではありません。しかし、本部活動に所属している全ての人にその実現のチャンスは大いにあると感じました。そしてその実現や過程が水泳のみならず、自分自身の夢や目標、理想の姿の体現に繋がると確信しています。私自身、「競技力の向上」は悔いのないところまで到達できましたが、「人間的成長」は生涯かけて行っていく所存です。この二つの理念を与えてくださったおかげで、また新たなステージでもそれらの実現のために邁進することができます。

最後になりましたが、4年間、私に関わってくださった方々、本当にありがとうございました。

今後の水上競技部のご活躍を心より祈念しております。

僕が水泳を始めたのは5歳の時でした。保育所のプールの時間に泳いでいる友達を見て泳げるようになりたいと思ったのがきっかけでした。なんやかんやでもうすぐ17年が経とうとしています。17年も同じことをやってきてまだ物足りないと感じているのでなかなかの変態なのかもしれません。

17年を振り返るとかなり運が良かったと思っています。

まずはなんといっても誕生日が良かったです。3月29日という絶妙な日に生まれました。数日遅ければ1つ下の学年、数日早ければ27日現在の年齢で制限タイムが接待される春のジュニアオリンピックには出られなかったという絶妙な日です。1つ下の学年であれば、後述するライバルたちはライバルではなく1つ上の先輩で、負けて当然と思っていたかもしれません。逆に早く生まれていると小さい頃から全国大会の舞台を経験することはなかったと思います。

高等部に進学したのもたまたまでした。中学3年の夏の時点では公立高校を受験することを考えていました。競技レベルもやっと近畿大会にいける程度で水泳での進学は無いと思っていました。そんな中、友達に誘われて関学のオープンハイスクールに参加し、方波見先生にお会いしました。方波見先生に高等部へ誘われ、受験勉強をしなくて良いのならと安易な考えで進学先を決めました。さらに大学受験もしなくて良いことを知るなど、水泳のことではなく勉強をしなくて良いことが進学への決め手でした。その先で出会ったのが、KGSTとKGUSTでした。友達にオープンハイスクールに誘われたことから運が良かったとしか言えません。

さらに運良く多くの指導者と出会えました。選手になってからは14年経ちますが他の選手では考えられないほどのコーチに見てもらってきたと思います。JSS御影で3人、NSI御影で4人、高等部で9人、さらに兵庫県の先生方やコーチの方々にも指導して頂き、KGUSTでも多くのスタッフ陣や仲間たちに指導して頂きました。今井亮介さんに久留米まで指導を仰ぎに行ったのも良い思い出です。今の自分の競技レベルがあるのはこの出会いがあったからなのは間違いありません。本当に感謝しています。当時は理解できなくても今になってやっと理解できて取り入れ出したことも多くあります。まだ自分の中で納得できていない教えもあります。まだ試せていない、理解できていないことがあるのに競技を離れるなんて到底出来ませんでした。今まで教えて頂いたことを全て自分の中で消化できるころには今は比べ元にならない競技力に到達していると思います。

次にライバルに恵まれました。小、中、高、大と本当にライバルに恵まれていたと思います。どんな時でも同学年に同じようなレベルの選手が何人もいました。勝ったり負けたりを繰り返す内に、「あいっただけには負けたくない」と思えたからこそ練習に身が入りました。遠征に行った時にも誰かが必ずいてその時はとても頼もしかったことを覚えています。今後も競泳を続ける選手も何人かいるので来年以降もまだまだ戦い続けることになりそうです。KGUSTに平泳ぎを専門とする選手が多かったことも運が良かったと言えます。原田先輩、田中先輩、大谷先輩、宇野、木村、窪田、斉藤、佐藤、武樋、八木、重塚。スプリントは絶対に負けたくないと思いつつもいつか抜かれる日が来ると怯えていました。ベストは勝っている。でも選考で負けたら夏シーズンは泳げないという緊張感が良かったのかもしれない。練習でも絶対に負けられないと自分にプレッシャーをかけて泳いでいました。努力をやめられ

ない要因の一つでした。技術もたくさん盗みました。また多くの地域から、多くの指導者から学んできた泳ぎや考え方を片端から盗ませてもらいました。様々な考え方を持つ選手の集まるチームの良さを最大限活用させてもらいました。

これまでの水泳人生を振り返ると運の良さが今の自分につながっていると改めて感じました。さらに運の良いことにインカレでギリギリ B 決勝に残れるぐらいの僕が社会人になっても水泳を続けていける環境を見つけることができました。今の 100m 平泳ぎのベストタイムは 1 分 1 秒 05 です。あと 2 秒で代表が取れます。あと 4 秒で世界一になれます。17 年でここまでできました。2028 年ロサンゼルスオリンピックの優勝を目指そうと思います。

今までの経験や出会いの全てに感謝をしながら、まだまだ上を目指してやっていきたいと思います。今後とも応援の程、宜しくお願い致します。

競技人生が終了し、日が経ちましたが毎日充実しています。この理由は目標にしていたことや夢が叶い、やり遂げられたからです。今は何年間も一緒に練習してきた後輩たちが来年に向けて頑張っている姿を見てワクワクしています。今の自分を作ってくれた4年間で軽く振り返っていきたいと思います。

高校時代まで全国大会に個人種目で出場したことがなく、自分はこの程度なんだとその成績で満足する気持ちでした。しかし、内藤監督のお誘いでKGUSTの一員になることが出来て、個人種目で絶対にインカレに出場するという目標が出来ました。しかし、同期は全国大会常連の兵庫のスターだらけで萎縮していました。どうにか食らいついて頑張っていたらインカレ突破をすることが出来ました。しかし、ここから私が一番悩んだ時期に入りました。目標を達成した後がなにもなかったです。インカレで泳げて、なにも得られません。一流選手の泳ぎを見て感動したことはありましたが、あれは別世界と線を引いていました。そこから競技人生で初めて伸びない時期が来ました。練習に対するモチベーションもなくなり、サボることも多々ありました。そしてあっという間に2年目のコロナ禍突入でした。この1年間は水泳から離れ、大学生活でしか出来ないことをしました。しかし、今振り返ればこの1年間は競技生活で1番成長の源になったと思います。その理由は2つあります。1つ目は肉体改造です。ジムに通い始め、筋力を一気に伸ばしました。初めは筋トレ反対派でしたが、トップアスリートの身体で小さい人はいません。だから形から入ろうと頑張りました。2つ目は考えることです。「なぜ水泳をしたいのか」「自分はどのような姿になりたいのか」など大きなことから些細なことまで全て考えていきました。もちろん練習せずには思うようなタイムで泳ぐことは出来ませんでしたが、気持ちは誰よりも前向きでした。3年目はひたすら水泳を考えました。特に自分の中でより燃え上がったことは森下さんと塩川さんのインカレでの活躍です。とてもかっこよかったです。その時にラストイヤーは自分も全国で活躍出来る人になりたいという夢が出来ました。その夢を叶える為にリレーメンバー入りを狙い、自由形に専門種目を転向しました。そして、4回生が近づくにあたり、メニュー作成に関わる人間として絶対に成績を出さなければというプレッシャーが追い風となり、より一層練習に励みました。誰よりも早くプールに行き、身体を動かし、帰宅後はジムに行くという生活を続けていくうちに夢が目標となっていきました。

最後のインカレでは、A決勝には届かなかったものの、B決勝に2レースも泳げて最高の経験が出来ました。

部では人間的成長もあるかもしれませんが、まず成績を出さなければ水泳部である必要はありません。努力する人が正義という人もいますが、私自身は結果が出てそこから振り返った時に、周りに努力してたんだねと思われることが本当の努力だと思います。何の為に頑張るかは自由だと思いますが、今の時間を無駄だと思わない行動をすることが大事だと思います。これは社会人になってからも続けていきたいです。

最後になりますが、今まで関わってくださった方々、本当にありがとうございました。

私の水泳部での四年間は、決して楽しいものではありませんでした。私は高校の時まで、「宮崎県」あるあるの？楽しいだけの水泳をしており、大学まで水泳を続けるつもりはありませんでした。しかし、「宮崎」という狭い世界しか知らない私は都会に憧れ、よく理解しないままスポーツ推薦入試に出席し、合格してしまいました。そして。気付けば大学で水泳部に所属していました。

大学での水泳はスイミングクラブ練習しか知らなかった私にとって、何もかもが初めての体験でした。水泳に対する意識の高いチームに所属することも初めてで、周りの部員は全国で戦う選手ばかりで、競技レベルの高さに自分の居場所が無いように感じました。また、初めて体験する先輩・後輩の上下関係、体育会という組織など環境の変化についていくのが大変でした。三田キャンパスでの理工学部での学業と部活動の両立は体力的にも厳しいものでした。二回生の時にはコロナで部活が無くなりました。三回生の後期にはゼミでの研究活動が本格的に始まりました。私のゼミでは週40時間研究室に在室するというノルマがあり、水泳との両立はさらに難しくなりました。練習に参加できる回数もますます減り、ベスト更新には遠のく一方でした。電車に乗るだけで吐きそうで、辛くて、同期には何度も「辞める。辞める。」と言っていたものです。

辛かったことをつらつらと書いてきましたが、私が4年間続けられた（辞めなかった）のは、私の同期がああのメンバーだったからです。同期は、私の学部や研究室のことを理解してくれ、部活で多くの事を求めてきませんでした。存在するだけで良いと言ってくれている同期もいました。同期に仕事は任せきりな面も多く、大変申し訳なく思っています。また、いつまでも心配や応援をしてくださる姉の様な理子さんや、私に元気をくれる存在である結依ちゃんなど多くの方の理解と支えがあり、私は4年間水泳部を続けられたと思っています。そして、コロナ禍で人数制限もある中、同期全員でインカレに行く事が出来たことが私の中で一番の思い出です。この振り返りをするにあたって、思い出すのは辛かったことばかりですが、数年後には全ての出来事がいい思い出になっていると思います。私を人間的に成長させてくれたのはKGUSTです。競技面で貢献することは出来ませんでした、KGUSTに所属できて良かったです。

4年間携わって下さった皆様、ありがとうございました。

関西学院大学水上競技部の今後の活躍を影ながら応援しています。

四年間を振り返って

三野 漠

4年間ありがとうございました。

1年生の時は楽しくなくてやる気がなくなり休みがちな時もありましたが、まさしさんやspのメンバーのお陰でやる気を取り戻すことが出来、最後には楽しく水泳に取り組めて感謝しています。また、部活に参加していない時期にも仲良くして頂いた先輩方や同期にも感謝の気持ちが絶えないです。

結果を出すことは出来ませんでした、一緒に練習したspのメンバーが成長して良い結果を出せると信じて応援しています。

最後に4年間同期と部活を楽しめて最高でした！ラストシーズン熱いレースを沢山見せてくれてありがとう。

3年半を通して、自由は責任をもつことの裏返しにあるものだと気づきました。大学生にはたくさんの選択肢があると思います。遊びに専念することもできれば、様々なアルバイトを通じて社会経験を積むこともできます。その中で、私は水上競技部のマネージャーとして部活に取り組むことを選択しました。たくさんの選択肢の中でその選択肢を選び、責任をもってやり遂げることができて良かったと思います。

今は現役の時とはまた違う充実した日々を過ごしています。マネージャーとして水上競技部に携わった3年半は辛く苦しいことの連続でしたが、マネージャーには程遠い性格だった私を、マネージャーとして受け入れてくださったチームに、少しでも何か give できる存在になればと、考え行動した、充実した日々だったと振り返ります。

1回生のGW明けに入部して初日、本当に別世界に来てしまったように感じました。高校まで畑違いの競技をしていた私にとって、これまでの知識や経験はほとんど役に立たないことはわかっていましたが、同期のグループラインですら何の会話をしているのかわからない状態でした。毎日が聞きなれない言葉の連続でした。また、普段の練習に加え、朝の練習準備、授業の準備と復元、開放、ミーティング、試合の準備や当日の仕事など、考える暇もなく毎日1つひとつこなすことに必死でした。

私はコツコツ努力するより、要領よくこなす方がかっこいいと思ってしまう性格でしたが、私にとってすべてが1からである水泳部のマネージャーに関しては、努力しないとどうしようもありませんでした。この期間に自分自身の性格や考え方も大きく変わっていったと感じています。要領よくこなすことはもちろんかっこいいですが、コツコツ努力し、周りの人と協力してもっと大きなことを成し遂げるのもかっこいいと思うようになりました。そして、この期間で得た経験が部活を最後までやり遂げる糧になったと考えます。

ラストシーズンは、授業や就職活動との両立に苦しみました。時間の使い方の正解がわからず、自分のことだけで本当はいっぱいいっぱいでした。しかし、部活では11人のマネージャーの後輩が毎日頑張ってくれていました。だからこそ人数や個性を活かしたマネージャーの在り方を確立しようと思い、不器用ながら少しずつ形づくっていくことができました。そして、それができたのは同期の存在があったからです。シーズンが始まってまもない頃、スイム2部練習をしてその合間にマネージャーの仕事を快く手伝ってくれた同期がいました。マネージャー内の問題でも、親身に相談にのってくれた同期もいました。同期マネージャーはいませんでした。コツコツ努力し、周りの人と協力することによってマネージャーの統括をやり遂げることができたと思います。

最後になりましたが、内藤監督、北村会長、OB・OGの皆さま、そして今まで関わってくださったすべての方々、本当にありがとうございました。

4年間を振り返って

山口 大登

私の4年間を振り返ると、同期0人のたった1人の1年生からスタートした大学水球は、先輩におんぶに抱っこで周りの人に助けられながらも、入部当初からスタメンとして使ってもらい、順風満帆かと思っていました。しかし1年生最後の公式戦の1部昇格をかけた試合で残り時間わずか1点ビハインドの状況で最後に自分がシュートを外してしまい1部昇格は叶いませんでした。この結果を受けて、自分の中では来年こそは1部昇格をして、1部リーグの上位チームに食らいついてやると燃えていた矢先、新型コロナウイルス感染症の流行により、試合は疎か、練習もままならないような状況が1年以上続いて、苦痛の毎日が続いていた。

さらに2つ上の先輩方が引退された時はチーム全体の人数が5人、選手の数だと3人というたとえ試合が開催されても圧倒的に人数が足りないという状況にも陥ってしまったが、チームを挙げて行った勧誘により試合ができる人数まで部員を増やして、最後の年にはキャプテンになり、1人しかいない4年生で3年生以下の人数が私の在籍している中で最も多い17人という自分以外が全員下級生という圧倒的大人数のチームが出来上がりました。しかし私には全然チームを纏める力は無かったことにより頼り甲斐のないキャプテンであったけれど、自分なりのチーム作りをやり切ったとは思っています。

山あり谷ありの4年間でしたが、終わってみれば全てとても良い経験でした。大学で4年間も水球をさせていただいた関学には感謝しかありません。

部員名鑑

現役部員の自己紹介です。各々の性格が現われていると思います。
お楽しみください。

- ① 名前
- ② 生年月日
- ③ 学部・学年
- ④ 出身校・出身スイミング
- ⑤ 競泳：専門種目、長水路のベストタイム
水球：ポジション
- ⑥ 一言

- ①植田竜成
②2000年12月6日
③法学部4年
④私立報徳学園高等学校
JSS北神戸
⑤100m バタフライ 54.80
200m バタフライ 2.02.89
⑥良い水泳人生でした。ありがとうございました。

- ①大谷雄剛
②2000年6月29日
③社会学部4年
④桃山学院高等学校
守口イトマンスイミング
⑤200m個人メドレー 2.06.84
400m個人メドレー 4.29.72
⑥やり切りました。監督はじめチーム関係者の皆様、お世話になりました。ありがとうございました。

- ①木村拓真
②2000年11月23日
③総合政策学部4年
④和歌山県立海南高等学校
⑤100m 平泳ぎ 1.04.14
⑥良い大学生活を送ることができました。ありがとうございました。

- ①窪田聖
②2001年3月4日
③法学部4年
④金沢高等学校
金沢スイミングクラブ西泉
⑤100m 平泳ぎ 1.05.09
⑥このチームでやってこれて最高でした。ありがとうございました。

- ①齊藤迅
②2000年5月14日
③国際学部4年
④私立須磨学園高等学校
イトマン西神戸
⑤100m 平泳ぎ 1.04.61
200m 平泳ぎ 2:17.95
⑥水泳の最後をこの部活動で終えることができ
て幸せでした。

- ①平井佑典
②2001年3月29日
③経済学部4年
④関西学院高等部
御影SS
⑤50m 平泳ぎ 27.71
100m 平泳ぎ 1.01.05
⑥目標はロサンゼルス五輪優勝です。これからも宜しくお願い致します。

- ①堀敬貴
②2001年2月23日
③経済学部4年
④県立姫路商業高等学校
ルネサンス姫路
⑤100m 自由形 50.91
⑥様々な経験が出来ました。お世話になりました。

- ①松永真彩子
②2000年8月11日
③理工学部4年
④日向学院高等学校
⑤400m 自由形 4:46.73
⑥ありがとうございました。

- ①三野漠
- ②2000年7月4日
- ③商学部4年
- ④市川高等学校
- ⑤50m自由形 23.89
- ⑥楽しめました。

- ①安江千咲
- ②2001年2月27日
- ③法学部4年
- ④帝塚山学院高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥充実した4年間でした。ありがとうございました。

- ①有友敬亮
- ②2001年12月13日
- ③商学部3年
- ④関西学院高等部
イトマンスイミングスクール西宮校
- ⑤100m バタフライ 59.23
- ⑥日々精進します。

- ①尾崎玲菜
- ②2001年8月26日
- ③社会学部3年
- ④富田林高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥頑張ります。

- ①楠田将也
- ②2001年10月24日
- ③経済学部3年
- ④市川高等学校
- ⑤200m 個人メドレー 2.09.30
- ⑥楽しんで競技に取り組みます。

- ①高大輔
- ②2001年6月24日
- ③経済学部3年
- ④関西学院高等部
イトマン京都
- ⑤100m 背泳ぎ 56.50
200m 背泳ぎ 2.02.61
- ⑥選手と主将の二刀流で大成する年とします。

- ①佐藤亮士
- ②2001年6月21日
- ③国際学部3年
- ④須磨学園高等学校
NSI 本山スイミングスクール
- ⑤100m 平泳ぎ 1.05.85
- ⑥自己ベスト更新を目指し、練習に励みます。

- ①杉井郁哉
- ②2001年8月9日
- ③文学部3年
- ④就実高等学校
OSK スポーツクラブ岡山
- ⑤100m バタフライ 54.83
- ⑥感謝

- ①高橋優輝
- ②2001年7月18日
- ③教育学部3年
- ④神戸大学附属中等教育学校
NSI スイミングスクール
- ⑤50m 自由形 25.12
- ⑥自分に負けず鍛錬をします。

- ①武樋祥太郎
- ②2001年12月19日
- ③社会学部3年
- ④清風高等学校
ジェル北野田スイミングスクール
- ⑤100m 平泳ぎ 1.05.30
- ⑥悔いのないシーズンにします。応援の程宜しくお願い致します。

- ①西垣祐輝
- ②2001年(平成13年)8月1日
- ③商学部3年
- ④雲雀丘学園高等学校
いずみ21川西イトマンスイミングスクール
- ⑤100m 背泳ぎ 59.95
200m 個人メドレー 2.10.33
- ⑥日々楽しみながら成長していきます。

- ①福本勝太
- ②2001年5月24日
- ③商学部3年
- ④市川高校
- ⑤100m 背泳ぎ 57.21
- ⑥頑張ります。

- ①藤原大彰
- ②2001年11月19日
- ③法学部3年
- ④関西学院高等部・コナミスポーツクラブ明石
- ⑤200m バタフライ 2.10.01
- ⑥最後の一年すべてを出し切ります。

- ①増田達哉
- ②2001年11月05日
- ③人間福祉学部3年
- ④兵庫県立淡路三原高等学校
NSI 南あわじスイミングスクール
- ⑤200m 自由形 1.51.93
400m 自由形 3.58.51
- ⑥最高学年として、後輩たちを引っ張っていけるような実力を兼ね備えると共に、水上競技部に貢献していきたいと思います。応援の程宜しくお願い致します。

- ①三浦結依
- ②2002年1月28日
- ③教育学部3年
- ④帝塚山学院高等学校
JSS エビススイミングスクール
- ⑤100m バタフライ 1.09.47
- ⑥1日1日を大切に、努力していきます。宜しくお願い致します。

- ①三原慶悟
- ②2001年5月9日
- ③社会学部3年
- ④須磨学園高等学校
JSS 宝塚スイミングスクール
- ⑤50m 自由形 23.38
100m 自由形 51.14
- ⑥人間性、競技力の面共に、成長出来るように頑張ります。そして、私が関西学院水泳部を体現します。

- ①安田美波
- ②2001年3月1日
- ③経済学部3年
- ④Eastlake High School
- ⑤マネージャー
- ⑥全力でサポート頑張ります。

- ①山形紗陽香
- ②2001年9月20日
- ③教育学部3年
- ④関西学院高等部
JSS宝塚スイミングスクール
- ⑤マネージャー
- ⑥誰もが安心して頼ることのできる存在となれるように頑張ります。

- ①好川大雅
- ②2001年6月21日
- ③法学部3年
- ④関西大学第一高等学校
- ⑤100m バタフライ 54.02
- ⑥副将として、ST パートリーダーとしてチームを引っ張っていけるように頑張ります。

- ①天野百望
- ②2002年8月22日
- ③国際学部2年
- ④捜真女学校・サギヌマ SC 鷺沼
- ⑤50m 自由形 26.20
100m 自由形 57.91
- ⑥関学新更新します。

- ①池浦菜花
- ②2003年3月16日
- ③商学部2年
- ④関西学院千里国際高等部
- ⑤マネージャー
- ⑥唯一無二のマネージャーになれるよう頑張ります。

- ①大門慶悟
- ②2002年4月19日
- ③法学部2年
- ④尼崎市立尼崎高校
尼崎スイミングスクール
- ⑤400m 自由形 4.06.31
1500m 自由形 16:08.43
- ⑥ここ数年ベストが出ていないので大ベスト更新を目指し、日々精進します。

- ①久世航大
- ②2002年12月24日
- ③経済学部2年
- ④桃山学院高等学校
- ⑤50m 自由形 23.32
100m 自由形 51.41
- ⑥自己ベストを更新します。

- ①佐野仁美
- ②2002年5月30日
- ③教育学部2年
- ④大阪国際大和田高等学校
枚方スイミングスクール 牧野
- ⑤100m 自由形 1:00.98
200m 自由形 2:10.70
- ⑥結果を残せるように努力します。

- ①竹内友唯
- ②2002年12月9日
- ③国際学部2年
- ④関西学院千里国際高等部
- ⑤マネージャー
- ⑥全力で選手のサポートを頑張らせて頂きます！

- ①田中一路
- ②2002年6月23日
- ③社会学部2年
- ④関西学院高等部
セントラル四條畷
- ⑤200m個人メドレー 2:04.53
400m個人メドレー 4:26.32
- ⑥今年はタイムにこだわります。

- ①田中駿真
- ②2002年6月28日
- ③商学部2年
- ④関西学院高等部
マックススポーツ武庫川
- ⑤50自由形 24.15
100自由形 53.37
- ⑥レギュラー目指して頑張ります。

- ①長澤樹
- ②2002年4月25日
- ③社会学部2年
- ④豊川高等学校
山形ドルフィンクラブ
- ⑤50m自由形 23.86
100m自由形 52.62
- ⑥誰よりもベストを出せるようにします。

- ①橋本和佳
- ②2002年4月13日
- ③社会学部2年
- ④啓明学院高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥臨機応変に動けるマネージャーになれるように頑張ります。

- ①濱享輔
- ②2002年4月12日
- ③人間福祉学部2年
- ④和歌山県立桐蔭高等学校
パルポートワカヤマ
- ⑤100mバタフライ 57.08
200mバタフライ 2:07.97
- ⑥一意奮闘します。

- ①濱田莉子
- ②2002年10月21日
- ③人間福祉学部2年
- ④帝塚山学院高校
菊水スイミングスクール
- ⑤200m個人メドレー 2:25.15
200m背泳ぎ 2:22.44
- ⑥大幅に自己ベストを更新します。

- ①毛利雪乃
- ②2003年3月16日
- ③社会学部2年
- ④啓明学院高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥明るく元気いっぱいサポートします。

- ①八木大輝
- ②2002年10月5日
- ③経済学部2年
- ④関西学院高等部
塚口スイミングスクール
- ⑤100m 平泳ぎ 1:06.26
200m 平泳ぎ 2:20.57
- ⑥毎試合ベスト出して、今年こそ活躍できる選手になります。

- ①山田晃誠
- ②2002年7月23日
- ③商学部2年
- ④武蔵野高等学校
ロンドスイミングスクール
- ⑤200m 自由形 1:53.37
400m 自由形 4:00.22
- ⑥何事も全力で頑張ります。よろしくお願ひします。

- ①山本花純
- ②2002年12月27日
- ③総合政策学部2年
- ④関西学院高等部
- ⑤マネージャー
- ⑥安心感を与えられるマネージャーになれるよう頑張ります。

- ①赤木彩羽
- ②2003年5月27日
- ③法学部法律学科1年
- ④豊中高校
- ⑤マネージャー
- ⑥初心を忘れず日々誠実に頑張り、頼れるマネージャーになります。宜しくお願ひいたします。

- ①伊藤寛記
- ②2003年6月22日
- ③人間福祉学部1年
- ④関西学院高等部
- ⑤100m 自由形 53.22
- ⑥チームに貢献できるだけの力を身につけられるよう、高みを目指して頑張ります。宜しくお願ひいたします。

- ①大平理登
- ②2003年7月20日
- ③法学部1年
- ④須磨学園高等学校
JSS 北神戸
- ⑤200m 個人メドレー 2:04.55
- ⑥強いKGUSTを引っ張る存在になるため日々努力します。宜しくお願ひいたします。

- ①小野寺愛優
- ②2003年11月19日
- ③国際学部1年
- ④神戸市立葺合高校
- ⑤マネージャー
- ⑥選手に安心感を与え、信頼されるマネージャーを目指したいです。宜しくお願ひいたします。

- ①垣内柊人
- ②2003年12月29日
- ③商学部1年
- ④関西学院高等部
- ⑤200m 自由形 1:56.84
- ⑥宜しくお願ひいたします。

- ①小嶋虹佑
- ②2003年9月21日
- ③経済学部1年
- ④名古屋高等学校
BIG 東海
- ⑤50m 自由形 24.37
- ⑥チームに貢献します。よろしくお願ひ致します。

- ①重塚笙
- ②2003年7月24日
- ③商学部1年
- ④報徳学園高校
コナミ西宮
- ⑤200m 平泳ぎ 2.15.32
- ⑥長水路でも勝負できる選手になりたいです。
宜しくお願ひいたします。

- ①清水歩空
- ②2003年12月23日
- ③社会学部1年
- ④報徳学園高校
コナミ西宮
- ⑤200m 自由形 1:52.07
- ⑥KGUSTの自由形のエースになれるよう頑張ります。宜しくお願ひいたします。

- ①永井悠介
- ②2003年11月23日
- ③国際学部1年
- ④洛南高等学校
セントラル太秦
- ⑤100m バタフライ 53.87
- ⑥KGUSTにとって欠かせない存在となれるよう頑張ります。宜しくお願ひいたします。

- ①山城夢芽
- ②2003年12月12日
- ③経済学部1年
- ④和歌山県立星林高等学校
パルポートワカヤマ
- ⑤200m 背泳ぎ 2.24.79
- ⑥チームの力になれるように頑張ります。宜しくお願ひいたします。

- ①湯田平航樹
- ②2003年10月13日
- ③商学部1年
- ④福岡県立京都高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥選手のニーズに応えられるように頑張ります。宜しくお願ひ致します。

- ①渡瀬夢花里
- ②2003年6月26日
- ③教育学部1年
- ④関西学院高等部
尼崎市スポーツ振興事業団
- ⑤200m バタフライ 2.15.92
- ⑥チームに少しでも貢献できるように頑張ります。宜しくお願ひいたします。

- ①山口大登
- ②2000年8月2日
- ③理工学部4年
- ④名古屋高校
- ⑤フローターバック
- ⑥今までありがとうございました！

- ①大塚宙
- ②2002年10月23日
- ③国際学部2年
- ④須磨学園高校
- ⑤ドライバー
- ⑥一生懸命泳ぎます

- ①太田 明彦
- ②2001年2月24日
- ③人間福祉学部 3年
- ④兵庫県立西宮北高等学校
- ⑤ドライバー
- ⑥自分なりの方法でチームに貢献できるよう頑張ります。

- ①小野孟司
- ②2002年12月30日
- ③文学部 2年
- ④兵庫県立宝塚西高等学校
- ⑤ドライバー
- ⑥日々反省、日々成長を心に留めて頑張ります。

- ①米田舞雪
- ②2002年2月19日
- ③教育学部3年
- ④尼崎北高校
- ⑤マネージャー
- ⑥チームが全力を尽くせるようにサポートします。

- ①上瀬結希
- ②2002年10月16日
- ③社会学部2年
- ④松山東高校
- ⑤マネージャー
- ⑥選手のサポートに徹します

- ①上中静季
- ②2003年2月18日
- ③教育学部2年
- ④広島女学院高校
- ⑤マネージャー
- ⑥選手がより練習に打ち込めるよう、試合で力を発揮できるよう支えています。

- ①神田大和
- ②2003年2月28日
- ③法学部2年
- ④兵庫県立尼崎北高等学校
- ⑤フローター
- ⑥今年こそは頑張っていきたいと思います。

- ①竹中柊
- ②2002年12月27日
- ③法学部2年
- ④兵庫県立尼崎北高等学校
- ⑤ゴールキーパー
- ⑥正確な指示を出し、守備の要として守り抜きます

- ①武本優志
- ②2002年5月15日
- ③経済学部2年
- ④加古川西高校
マック加古川
- ⑤ドライバー
- ⑥一生懸命頑張ります！！

- ①戸原日向子
- ②2002年8月25日
- ③商学部2年
- ④佐賀県立佐賀商業高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥選手が全力で水球に取り組めるように、サポートします！

- ①中元洸佑
- ②2002年11月19日
- ③経済学部2年
- ④京都府立乙訓高等学校
- ⑤ドライバー
- ⑥目指せ1部上昇

- ①濱口陽
- ②2002年8月10日
- ③経済学部2年
- ④滝川高校
- ⑤ドライバー
- ⑥水球が大好きです

- ①田中 楓史郎
- ②2003年4月2日
- ③経済学部1年
- ④熊本県私立九州学院高等学校
- ⑤キーパー
- ⑦シュートを1本でも多く止めれるように頑張ります。

- ①辻本匠
- ②2003年8月7日
- ③総合政策学部1年
- ④向陽高校
- ⑤ドライバー
- ⑥1部昇格に向けて頑張ります！

- ①町井佑衣
- ②2003年10月7日
- ③教育学部1年
- ④和歌山県立向陽高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥選手のサポートできるように頑張ります。

- ①村上 晴飛
- ②2003年8月22日
- ③社会学部1年
- ④福岡県立筑紫高等学校
- ⑤ドライバー
- ⑥試合で活躍できるように頑張ります！！

- ①和田涼一郎
- ②2003年9月14日
- ③工学部1年
- ④滝川高等学校
- ⑤ドライバー、フローター
- ⑥粘り強く頑張ります

IV. 付録

水上競技部会計報告

期間：2021年10月1日～2022年9月30日

支出の部		収入の部	
登録・エントリー代	1,480,580	前年度繰越金	253,443
遠征・合宿費	1,781,344	部費収入	1,770,000
公務出張費	84,480	その他現役負担金収入	3,551,305
備品費・消耗費	316,601	大学援助金収入	1,300,000
通信費・運送費	498,910	受取利息	7
印刷製本費	240,396	アルバイト収入	4,030
保険料	103,500	寄付収入	40,000
施設利用料	141,028		
雑費	270,194		
翌年度繰越金	2,001,752		
支出 計	6,918,785	収入 計	6,918,785

※消耗品費にはジャージやTシャツ等の現役自己負担分が含まれます。

※大学援助金にはスポーツ活動支援募金の取崩しは含まれていません。

学校法人関西学院が管理しているスポーツ活動支援募金は、次年度以降に順次執行していく予定です。

歴代十傑表（2021年11月現在）

【男子】

●50M自由形

1.	森下 翔太	22"86	R. 3	関西学生
2.	森 元秀	23"04	H. 25	日本学生
3.	平松 聖隆	23"12	H. 31	関西学生
4.	原 嘉一	23"24	H. 29	関西学生
5.	樋口 拓夢	23"27	H. 26	日本学生
6.	崎久保 拓洋	23"32	H. 25	関西学生
6.	久世 航大	23"32	R. 3	関西学生
8.	三原 慶悟	23"33	R. 4	関西学生
9.	桑本 貴隆	23"50	H. 21	関西学生
10.	齊藤 大己	23"50	H. 29	日本学生

●100M自由形

1.	森下 翔太	49"93	R. 3	兵庫県選手権
2.	平松 聖隆	49"96	H. 31	岡山県選手権
3.	樋口 拓夢	50"66	H. 25	関西学生
4.	中村 豊	50"73	H. 24	関西学生
5.	堀 敬貴	50"91	R. 4	関西学生
6.	三原 慶悟	51"14	R. 4	兵庫県選手権
7.	崎久保 拓洋	51"37	H. 26	日本学生
8.	高 大輔	51"39	R. 4	兵庫県長水路
9.	森 元秀	51"40	H. 25	関西学生
10.	久世 航大	51"41	R. 4	兵庫県長水路

●200M自由形

1.	森下 翔太	1'51"02	H. 31	関西学生
2.	中村 豊	1'51"76	H. 24	関西学生
3.	増田 達哉	1'51"93	R. 4	関西学生 CS
4.	長谷川 大輔	1'52"24	H. 28	日本学生
5.	清水 歩空	1'52"33	R. 4	関西学生 CS
6.	平松 聖隆	1'52"43	H. 31	岡山県選手権
7.	前家 空	1'52"77	H. 26	関西学生
8.	西桶 正倫	1'52"84	H. 27	関西学生
9.	原 嘉一	1'52"99	H. 29	兵庫県長水路
10.	河村 拓実	1'53"03	H. 21	関西学生

●400M自由形

1.	森芳 慎平	3'55"67	H. 26	ジャパンオープン
2.	長谷川 大輔	3'57"57	H. 28	日本学生
3.	北山 拓人	3'58"01	H. 26	関西学生
4.	佐野 武	3'58"29	H. 27	兵庫県長水路
5.	増田 達哉	3'59"46	R. 4	兵庫県選手権
6.	中村 豊	3'59"66	H. 21	関西学生
7.	原 嘉一	4'00"10	H. 27	京都府選手権
8.	森下 翔太	4'00"90	H. 31	関西学生
9.	鶴飼 夏也人	4'02"38	H. 26	兵庫県選手権
10.	西村 祐輝	4'03"18	H. 28	関西プレインカレ

●1500M自由形

1.	森芳 慎平	15'24"47	H. 26	日本学生
2.	佐野 武	15'27"39	H. 27	関西学生
3.	北山 拓人	15'44"38	H. 26	日本学生
4.	長谷川 大輔	15'51"08	H. 26	関西プレインカレ
5.	原 嘉一	15'55"40	H. 27	関西プレインカレ
6.	中村 豊	16'07"44	H. 21	兵庫県選手権
7.	岡村 翼	16'11"31	H. 29	神戸市民
8.	加藤 拓也	16'19"82	H. 23	関西学生
9.	大門 慶悟	16'21"64	R. 4	関西学生春季
10.	小林 薫平	16'22"26	H. 30	関西学生

●100M平泳ぎ

1.	平井 佑典	1'01"05	R. 4	関西学生
2.	和田 真哉	1'02"71	H. 27	関西学生
3.	瀬角 健太	1'02"76	H. 27	日本学生
4.	和佐田 勝久	1'02"87	H. 21	関西学生
5.	大谷 洸	1'03"16	H. 31	関西学生CS
6.	出井 義也	1'03"64	H. 25	関西学生CS
7.	重塚 笙	1'03"75	R. 4	兵庫県選手権
8.	木本 聡	1'03"80	H. 15	日本学生
9.	原田 明日翔	1'04"01	H. 29	関西学生
10.	木村 拓真	1'04"14	R. 4	関西学生

●200M平泳ぎ

1.	和佐田 勝久	2'14"45	H. 21	関西学生
2.	重塚 笙	2'15"32	R. 4	関西学生
3.	平井 佑典	2'16"40	R. 4	関西学生
4.	大谷 洸	2'16"49	H. 30	関西学生 CS
5.	瀬角 健太	2'16"63	H. 28	日本選手権
6.	平谷 源	2'18"01	H. 21	関西学生
7.	田中 優一	2'18"33	H. 31	日本学生
8.	齋藤 迅	2'18"45	R. 1	関西学生 CS
9.	中嶋 康介	2'18"94	H. 28	関西学生 CS
10.	稲垣 和磨	2'19"00	H. 25	関西学生

●100M背泳ぎ

1.	塩川 裕也	55'77	R. 3	日本学生
2.	三坂 一真	56"48	H. 30	日本学生
3.	高 大輔	56'50	R. 3	関西学生 CS
4.	立花 槇次郎	56"91	H. 25	日本学生
5.	今別府 俊成	57"12	H. 21	関西学生
6.	多田 匠吾	57"15	H. 21	関西学生
7.	佐多 直浩	57"18	H. 30	関西学生
8.	福本 勝太	57"21	R. 3	関西学生春季室内選手権
9.	林 隆太郎	57"29	H. 13	日本学生
10.	井上 裕介	57"69	H. 27	日本学生

●200M背泳ぎ

1.	塩川 裕也	2'00"53	R. 3	日本学生
2.	立花 槇次郎	2'01"17	H. 27	日本選手権
3.	高 大輔	2'02"61	R. 4	関西学生
4.	藤田 紘希	2'02"85	R. 3	日本学生
5.	多田 匠吾	2'03"89	H. 21	関西学生
6.	今別府 俊成	2'05"54	H. 24	関西学生
7.	田島 初	2'05"87	H. 23	兵庫県長水路
8.	三坂 一真	2'06"12	H. 31	日本選手権
9.	林 隆太郎	2'06"19	H. 12	日本選手権
10.	縄田 岳	2'06"61	H. 23	日本学生

●100Mバタフライ

1.	永井 悠介	53"87	R. 4	京都府選手権
2.	竹下 祥平	53"98	H. 25	日本学生
3.	好川 大雅	54"02	R. 4	関西学生 CS
4.	森下 翔太	54"28	R. 3	関西学生春季
5.	河村 拓実	54"44	H. 21	日本学生
6.	甲谷 直希	54"67	H. 30	関西学生
7.	那須野 諭	54"69	H. 21	日本選手権
8.	植田 竜成	54"72	R. 4	兵庫県夏季公式
9.	杉井 郁哉	54"83	R. 4	岡山選手権
10.	岩山 昂生	54"96	H. 30	関西学生夏季

●200Mバタフライ

1.	永井 悠介	2'00"44	R. 4	京都府選手権
2.	森芳 慎平	2'00"69	H. 26	ジャパンオープン
3.	河村 拓実	2'01"82	H. 21	日本選手権
4.	那須野 諭	2'02"30	H. 21	関西学生
5.	鵜飼 夏也人	2'02"41	H. 26	日本学生
6.	三辻 大四郎	2'02"45	H. 16	関西学生
7.	岡村 翼	2'02"53	H. 30	関西学生
8.	竹下 祥平	2'02"82	H. 25	日本学生
9.	出井 義也	2'02"84	H. 25	関西学生
10.	植田 竜成	2'02"89	R. 4	関西学生

●200M個人メドレー

1.	出井 義也	2'03"56	H. 25	日本学生
2.	原 嘉一	2'04"39	H. 29	日本学生
3.	田中 一路	2'04"70	R. 4	関西学生
4.	山本 一貴	2'05"20	H. 27	関西学生
5.	服部 季輝	2'05"52	H. 29	日本学生
6.	前田 奨	2'05"68	H. 27	関西学生
7.	前家 空	2'05"76	H. 26	関西学生 CS
8.	鵜飼 建吾	2'06"76	H. 21	日本学生
9.	大谷 雄剛	2'06"82	R. 4	関西学生 CS
10.	三坂 一真	2'06"96	H. 30	関西学生

●400M個人メドレー

1.	森芳 慎平	4'26"99	H. 25	大阪府選手権
2.	田中 一路	4'27"75	R. 4	国際大会日本代表選考会
2.	鵜飼 夏也人	4'28"11	H. 28	日本学生
4.	前田 奨	4'28"78	H. 27	日本学生
5.	鵜飼 建吾	4'29"52	H. 21	関西学生
6.	山本 一貴	4'29"78	H. 27	関西学生
7.	前家 空	4'30"93	H. 24	関西学生
8.	大谷 雄剛	4'32"65	R. 4	関西学生 CS
9.	小野 優	4'32"99	H. 25	関西学生 CS
10.	坂上 一真	4'34"25	H. 17	関西学生

●400Mメドレーリレー

1.	塩川裕也・平井佑典・好川大雅・森下翔太	3'40"48	R. 3	日本学生
2.	塩川裕也・平井佑典・大川航輝・平松聖隆	3'42"27	R. 2	日本学生
3.	高大輔・平井佑典・永井悠介・堀敬貴	3'42"47	R. 4	日本学生
4.	高大輔・平井佑典・好川大雅・三原慶悟	3'43"09	R. 4	関西学生 CS
5.	三坂一真・大谷洸・大川航輝・平松聖隆	3'43"95	H. 31	関西学生
6.	立花慎次郎・和田真哉・竹下祥平・樋口拓夢	3'44"74	H. 25	日本学生
7.	立花慎次郎・瀬角健太・橘知毅・齊藤大己	3'44"86	H. 28	日本学生
8.	立花慎次郎・和田真哉・甲谷直希・齊藤大己	3'44"87	H. 27	関西学生
9.	井上裕介・瀬角健太・甲谷直希・崎久保拓洋	3'45"16	H. 27	日本学生
10.	三坂一真・大谷洸・甲谷直希・平松聖隆	3'45"16	H. 30	関西学生

●400Mフリーリレー

1.	三原慶悟・勝見駿佑・久世航大・森下翔太	3'22"82	R. 3	関西学生
2.	平松聖隆・佐多直浩・寺田弘剛・森下翔太	3'23"16	H. 31	日本学生
3.	平松聖隆・佐多直浩・三原慶悟・森下翔太	3'23"36	R. 2	日本学生
4.	清水歩空・堀敬貴・三原慶悟・久世航大	3'24"33	R. 4	関西学生
5.	西桶正倫・崎久保拓洋・樋口拓夢・森元秀	3'24"35	H. 26	日本学生
6.	平松聖隆・三坂一真・森下翔太・寺田弘剛	3'24"57	H. 31	関西学生 CS
7.	樋口拓夢・文野知弥・崎久保拓洋・中村豊	3'24"74	H. 24	日本学生
8.	森元秀・西桶正倫・崎久保拓洋・樋口拓夢	3'24"75	H. 26	関西学生
9.	崎久保拓洋・齊藤大己・山本一貴・西桶正倫	3'24"80	H. 27	関西学生
10.	平松聖隆・寺田弘剛・原嘉一・齊藤大己	3'25"01	H. 29	関西学生

●800Mフリーリレー

1.	増田達哉・三原慶悟・森下翔太・高大輔	7'30"90	R.	3	関西学生
2.	増田達哉・清水歩空・堀敬貴・高大輔	7'31"02	R.	4	日本学生
3.	森下翔太・平松聖隆・富田圭人・寺田弘剛	7'31"23	H.	31	関西学生
4.	増田達哉・清水歩空・三原慶悟・高大輔	7'31"77	R.	4	関西学生
5.	森下翔太・平松聖隆・小林薫平・寺田弘剛	7'31"92	H.	31	関西学生 CS
6.	前家空・森芳慎平・北山拓人・長谷川大輔	7'32"21	H.	26	関西学生
7.	長谷川大輔・原嘉一・西村祐輝・寺田弘剛	7'32"43	H.	28	日本学生
8.	平松聖隆・富田圭人・寺田弘剛・原嘉一	7'32"69	H.	29	日本学生
9.	北山拓人・原嘉一・長谷川大輔・西桶正倫	7'32"76	H.	27	日本学生
10.	前家空・森芳慎平・北山拓人・西桶正倫	7'32"87	H.	26	日本学生

【女子】

●50M自由形

1.	遠藤 奈々	26"25	H.	23	日本学生
2.	山本 麻利	26"28	H.	24	関西学生
3.	小林 真衣	26"50	H.	19	日本学生
4.	天野 百望	26"56	R.	3	関西学生 CS
5.	平原 雪子	27"08	H.	23	神戸市民
6.	坂本 奈緒子	27"45	H.	13	関西学生
7.	丑本 加子	27"88	H.	27	日本学生
8.	濱田 莉子	27"95	R.	4	大阪府選
9.	竹林 理子	27"96	H.	30	京都府選
10.	田中 清香	27"97	H.	13	関西学生

●100M自由形

1.	山本 麻利	57"46	H.	24	関西学生
2.	小林 真衣	57"83	H.	19	日本学生
3.	天野 百望	57"91	R.	4	日本学生
4.	遠藤 奈々	58"23	H.	23	日本学生
5.	平原 雪子	58"82	H.	22	神戸市民
6.	石垣 友美	59"67	H.	15	関西学生
7.	木村 友紀	59"97	H.	23	神戸市民
8.	山本 紗希	1'00"05	H.	30	日本学生
9.	小林 広果	1'00"20	H.	22	兵庫学生
10.	柴崎 愛子	1'00"44	H.	19	コナミオープン

●200M自由形

1.	柴崎 愛子	2'06"10	H. 19	コナミオープン
2.	石垣 友美	2'06"12	H. 14	日本選手権
3.	竹林 理子	2'06"26	H. 30	関西学生
4.	坂上 智美	2'06"67	H. 19	日本学生
5.	山本 麻利	2'06"87	H. 24	関西学生
6.	木村 友紀	2'07"62	H. 21	日本学生
7.	笹井 柚伽	2'08"96	H. 23	神戸市民
8.	小林 広果	2'08"99	H. 23	神戸市民
9.	長井 もも香	2'09"22	H. 29	関西プレインカレ
10.	山本 紗希	2'09"60	H. 27	関西学生CS

●400M自由形

1.	柴崎 愛子	4'20"02	H. 18	日本選手権
2.	石垣 友美	4'25"89	H. 14	日本学生
3.	坂上 智美	4'26"90	H. 19	日本学生
4.	木村 友紀	4'27"85	H. 22	神戸市民
5.	竹林 理子	4'28"94	H. 30	関西学生
6.	長井 もも香	4'28"96	H. 26	日本学生
7.	河津 なつみ	4'38"15	H. 21	兵庫学生
8.	笹井 柚伽	4'41"37	H. 23	兵庫学生
9.	溝淵 真由	4'46"08	R. 3	関西学生
10.	藤原 絵美	4'46"42	H. 16	関西学生

●800M自由形

1.	柴崎 愛子	9'02"49	H. 18	関西学生
2.	長井 もも香	9'09"83	H. 27	関西学生
3.	竹林 理子	9'10"66	H. 30	兵庫県長水路
4.	木村 友紀	9'18"69	H. 22	神戸市民
5.	小林 広果	9'19"81	H. 22	神戸市民
6.	坂上 智美	9'20"47	H. 17	関西学生
7.	林 みのり	9'28"48	H. 30	兵庫県長水路
8.	藤原 絵美	9'45"19	H. 13	兵庫学生
9.	松永 真彩子	9'51"36	H. 31	兵庫県夏季公式
10.	野崎 めい	9'56"78	H. 23	京都学生

●100M平泳ぎ

1.	西田 早織	1'10"64	H. 21	関西学生
2.	平原 雪子	1'11"17	H. 22	千葉国体
3.	山下 來花	1'14"90	H. 29	関西学生
4.	嶋 ゆかり	1'15"06	H. 16	日本学生
5.	榎田 真由子	1'15"31	H. 7	関西学生
6.	山本 麻利	1'15"60	H. 25	神戸市民
7.	寺本 里織	1'17"07	H. 15	日本学生
8.	西田 美樹	1'17"08	H. 7	日本学生
9.	市原 なおみ	1'17"13	H. 8	関西学生
10.	金田 瑞穂	1'19"41	H. 7	関西学生

●200M平泳ぎ

1.	西田 早織	2'32"11	H. 21	日本学生
2.	平原 雪子	2'36"99	H. 23	関西学生
3.	山下 來花	2'39"78	H. 29	関西学生
4.	榎田 真由子	2'40"89	H. 4	日本学生
5.	西田 美樹	2'41"80	H. 7	関西学生
6.	寺本 里織	2'44"46	H. 15	関西学生
7.	奥山 琴未	2'44"85	H. 24	日本学生
8.	嶋 ゆかり	2'46"36	H. 16	日本学生
9.	市原 なおみ	2'48"03	H. 8	日本学生
10.	金田 瑞穂	2'50"55	H. 7	日本学生

●100M背泳ぎ

1.	池田 千容	1'02"87	H. 13	日本選手権
2.	池田 益千	1'03"27	H. 18	日本学生
3.	高岡 幸恵	1'05"19	H. 19	日本学生
4.	田部井 美里	1'05"25	H. 24	兵庫県選手権
5.	大和 友梨絵	1'06"88	H. 25	関西学生
6.	寺脇 佳子	1'07"26	H. 18	関西学生
7.	濱田 莉子	1'08"18	R. 3	大阪府選手権
8.	山城 夢芽	1'08"30	R. 4	兵庫県夏季公式
9.	神野 有香	1'08"92	H. 27	関西学生 C S
10.	内藤 好	1'10"66	H. 29	関西学生

●200M背泳ぎ

1.	池田 益千	2'15"11	H. 18	日本学生
2.	池田 千容	2'18"00	H. 13	日本学生
3.	高岡 幸恵	2'18"02	H. 19	日本選手権
4.	田部井 美里	2'20"47	H. 23	京都学生
5.	山城 夢芽	2'24"79	R. 4	和歌山県選手権
6.	濱田 莉子	2'25"18	R. 3	関西学生
7.	大和 友梨絵	2'25"74	H. 25	関西学生
8.	寺脇 佳子	2'25"88	H. 18	関西学生
9.	神野 有香	2'29"61	H. 27	大阪府選手権
10.	生田 彩	2'31"20	H. 31	関西学生 CS

●100Mバタフライ

1.	小林 真衣	1'00"59	H. 19	日本選手権
2.	小林 広果	1'02"34	H. 25	関西学生
3.	太田 愛	1'02"61	H. 14	関西学生
4.	渡瀬 夢花里	1'02"82	R. 4	関西学生 CS
5.	山本 紗希	1'02"96	H. 27	関西学生
6.	神野 舞	1'03"13	H. 22	関西学生
7.	笹井 柚伽	1'03"65	H. 23	神戸市民
8.	丑本 加子	1'04"14	H. 27	関西学生
9.	伊藤 かれん	1'04"29	H. 21	兵庫学生
10.	中田 亜希美	1'04"30	H. 15	関西学生

●200Mバタフライ

1.	渡瀬 夢花里	2'15"92	R. 4	関西学生
2.	太田 愛	2'15"99	H. 15	関西学生
3.	神野 舞	2'17"62	H. 22	日本学生
4.	小林 広果	2'18"00	H. 23	関西学生
5.	伊藤 かれん	2'18"83	H. 21	関西学生
6.	山本 紗希	2'19"25	H. 27	日本学生
7.	永岡 里彩	2'20"49	H. 25	日本学生
8.	中田 亜希美	2'21"10	H. 15	関西学生
9.	柴崎 愛子	2'24"23	H. 18	神戸市民
10.	藤本 敦子	2'26"12	H. 11	関西学生

●200M 個人メドレー

1.	平原 雪子	2'22"55	H. 23	日本学生
2.	柴崎 愛子	2'23"34	H. 17	大阪府選
3.	山本 麻利	2'23"80	H. 23	関西学生
4.	永岡 里彩	2'24"83	H. 23	関西学生
5.	濱田 莉子	2'25"15	R. 3	関西学生
6.	石垣 友美	2'27"39	H. 17	大阪府春季
7.	林 みのり	2'27"40	H. 31	関西学生
8.	池田 千容	2'28"61	H. 13	三大戦
9.	長井 もも香	2'28"68	H. 29	大阪府選
10.	内藤 好	2'29"55	H. 29	関西プレインカレ

●400M 個人メドレー

1.	柴崎 愛子	5'01"93	H. 19	コナミオープン
2.	長井 もも香	5'12"23	H. 28	日本学生
3.	林 みのり	5'14"15	H. 31	関西学生 CS
4.	藤本 敦子	5'24"72	H. 8	関西学生
5.	田中 清香	5'25"58	H. 12	兵庫学生
6.	藤田 彩子	6'36"67	H. 4	関西学生
7.	藤森 裕子	7'01"29	H. 4	関西学生

●400M メドレーリレー

1.	田部井美里・平原雪子・小林広果・遠藤奈々	4'16"53	H. 23	日本学生
2.	田部井美里・平原雪子・神野舞・遠藤奈々	4'20"45	H. 22	日本学生
3.	高岡幸恵・西田早織・小林真衣・坂上智美	4'20"61	H. 19	関西学生
4.	田部井美里・西田早織・伊藤かれん・木村友紀	4'21"06	H. 21	関西学生
5.	池田千容・嶋ゆかり・小林真衣・柴崎愛子	4'21"70	H. 16	関西学生
6.	池田益千・西田早織・小林真衣・柴崎愛子	4'21"72	H. 18	関西学生
7.	田部井美里・山本麻利・小林広果・永岡里彩	4'22"11	H. 24	関西学生
8.	池田千容・寺本里織・太田愛・石垣友美	4'22"53	H. 14	関西学生
9.	大和友梨絵・山本麻利・小林広果・永岡里彩	4'23"43	H. 25	関西学生
10.	池田益千・嶋ゆかり・太田愛・小林真衣	4'24"04	H. 17	関西学生

●200M フリーリレー

1.	遠藤奈々・平原雪子・木村友紀・山本麻利	1'46"46	H. 23	関西学生
2.	遠藤奈々・平原雪子・木村友紀・田部井美里	1'49"73	H. 21	関西学生
3.	小林真衣・福島由美子・池田千容・石垣友美	1'50"32	H. 16	関西学生
4.	小林真衣・福島由美子・柴崎愛子・坂上智美	1'50"54	H. 18	関西学生
5.	中田亜希美・池田千容・太田愛・石垣友美	1'50"64	H. 14	関西学生
6.	小林真衣・坂上智美・寺脇佳子・西田早織	1'50"69	H. 19	関西学生
7.	太田愛・福島由美子・柴崎愛子・石垣友美	1'51"07	H. 15	関西学生
8.	小林真衣・福島由美子・柴崎愛子・石垣友美	1'51"11	H. 17	関西学生
9.	小林真衣・福島由美子・坂上智美・石垣友美	1'51"20	H. 17	日本学生
10.	天野百望・溝淵真由・林みのり・濱田莉子	1'51"56	R. 3	関西学生

●400M フリーリレー

1.	遠藤奈々・平原雪子・木村友紀・山本麻利	3'55"70	H. 23	関西学生
2.	遠藤奈々・平原雪子・木村友紀・小林広果	3'57"33	H. 22	日本学生
3.	山本麻利・小林広果・永岡里彩・田部井美里	3'57"56	H. 24	関西学生
4.	小林真衣・柴崎愛子・坂上智美・石垣友美	3'59"18	H. 17	関西学生
5.	山本麻利・小林広果・時枝美保・木村友紀	3'59"24	H. 23	日本学生
6.	天野百望・濱田莉子・山城夢芽・渡瀬夢花里	3'59"57	R. 4	関西学生
7.	山本麻利・小林広果・永岡里彩・神野有香	3'59"60	H. 25	関西学生
8.	小林真衣・柴崎愛子・坂上智美・福島由美子	4'00"04	H. 18	関西学生
9.	天野百望・濱田莉子・佐野仁美・渡瀬夢花里	4'00"55	R. 4	日本学生
10.	遠藤奈々・伊藤かれん・平原雪子・木村友紀	4'01"03	H. 21	関西学生

●800M フリーリレー

1.	山本麻利・小林広果・平原雪子・木村友紀	8'31"99	H. 23	日本学生
2.	木村友紀・小林広果・山本麻利・田部井美里	8'34"73	H. 22	関西学生
3.	山本麻利・小林広果・永岡里彩・田部井美里	8'35"17	H. 24	関西学生
4.	木村友紀・小林広果・田部井美里・山本麻利	8'36"51	H. 22	日本学生
5.	竹林理子・山本紗希・林みのり・丑本加子	8'37"82	H. 30	関西学生
6.	神野有香・永岡里彩・山本麻利・小林広果	8'38"36	H. 25	日本学生
7.	河津なつみ・木村友紀・田部井美里・遠藤奈々	8'43"17	H. 21	日本学生
8.	山本麻利・田部井美里・神野有香・永岡里彩	8'43"63	H. 24	兵庫学生
9.	濱田莉子・天野百望・佐野仁美・渡瀬夢花里	8'48"13	R. 4	関西学生
10.	永岡里彩・笹井柚伽・田部井美里・平原雪子	8'48"32	H. 23	兵庫学生

編集後記

『弦泳第36号』はいかがでしたでしょうか。読んでいただく皆様にとって見易く、読み易く、そして楽しんでいただける部誌になるよう心掛けて作成いたしました。

今年度は、一昨年から続くコロナ禍の下で、様々な活動に制限がかかる中、取り組みを行ってきました。これまでと比べ、大会参加や練習時間といった面で多少の制限緩和はあったものの、世間では新型コロナウイルスの流行は収まっておらず、窮屈な活動を強いられる日々が今なお続いております。しかし、監督や主将、主務をはじめとした、多くの人たちの努力の結果、活動に光が見えてくるようになってきています。そのような中で、私自身、何か部に貢献できる取り組みを行いたいという思いから、この『弦泳』の編集に立候補させていただきました。取り組みの中で、今まで見えていなかった、OB・OGの皆様とのつながりというものを強く実感し、この編集をさせていただけて本当に良かったと思うことができました。

最後になりましたが、ご多忙中にも関わらず本誌発行のため執筆にご協力下さいました諸先生方、諸先輩方にこの場をお借りして深く御礼申し上げます。また、今後とも我が水上競技部への一層の御高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。皆様の益々のご健康、ご活躍、そしてご発展をお祈り申し上げます。

「弦泳第36号」編集者

三回生 藤原 大彰